資料１

# バリアフリーフェスタかながわ2013
# 結果報告書

平成２６年６月

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議

バリアフリーフェスタかながわに関する企画部会

## 目次

第１章　「バリアフリーフェスタかながわ 2013」の趣旨 ..... １
　１　目的..... １
　２　概要..... １
　３　広報..... ２
第２章　評価..... ３
　１　アンケート結果..... ３
　　(1) 参加者アンケート..... ３
　　(2) 実行委員会構成団体アンケート..... １１
　２　分析..... １４
　　(1) 協働..... １４
　　(2) 不特定多数の参加..... １４
　　(3) 当事者団体・事業者団体の参加..... １５
　　(4) 多くの意見収集..... １５
　　(5) 参加型・体験型..... １５
　　(6) ユニバーサルデザイン..... １６
　３　まとめ..... １６
第３章　今後の実施に当たっての課題..... １７
　１　概要..... １７
　　(1) 企画の考え方..... １７
　　(2) 日程..... １７
　　(3) 開催会場..... １７
　２　運営面..... １８
　　(1) 運営体制..... １８
　　(2) スケジュール..... １８
　　(3) 会場レイアウト・備品..... １９
　　(4) 集客手段（スタンプラリー・補助犬・乗り物・ゆるキャラ）..... １９
　　(5) 事前広報..... ２０
　　(6) 当日広報..... ２１

資料１　　広報用ちらし、スタンプラリー台紙
資料２　　記者発表資料
資料３　　参加者アンケート結果
資料３－２　実行委員会構成団体アンケート結果
資料４　　バリアフリーフェスタかながわ2013関連会議の開催状況

# 第１章　「バリアフリーフェスタかながわ2013」の趣旨

## １　目的

○　神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議（以下「県民会議」という。）では、障害者、高齢者、妊産婦、乳幼児連れの方などが安心して生活し、自らの意思で自由に移動し、社会に参加できる街づくりを進めている。

○　その一環として、県内の障害者等の関係団体や事業者・ＮＰＯ団体、県民からの公募委員、大学、行政の協働により、「バリアフリーフェスタかながわ2013」（以下「フェスタ」という。）を、相模原市内の商業施設において開催した。

○　このフェスタは、県民会議内に設置された実行委員会が企画・立案したもので、その目的は、平成24年９月に県民会議が取りまとめた提案書を広く県民に周知するとともに、バリアフリーの街を体感してもらうことで、バリアフリーの街づくりに対する理解を深めていただくことにある。

**〔企画・立案に当たっての考え方〕**

・　県民会議の理念に基づき、県民・事業者・行政が協働で実施する。
・　県民から広く意見を募るよう、開催会場は誰もが自由に参加できるような場を設定する。
・　当事者団体・事業者団体からの参加を積極的に促す。
・　県民から多くの意見をもらう形式とする。
・　来場者が気軽・身近に感じられる内容や参加型・体験型の内容を中心とする。
・　ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、来場者の誰もが安全・安心に参加できるように配慮したイベントとする。

## ２　概要

**(1)　日時**

平成25年11月17日（日）　11：00～16：00

**(2)　場所**

アリオ橋本（相模原市緑区大山町１番22号　「橋本駅南口」徒歩５分）

**(3)　主催**

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議

**構成：学識経験者(4)、障害者団体(7)、関係団体(3)、事業者(8)、公募委員(2)　計24名**

**(4)　内容**

○　県民会議構成団体を含む14団体が13コーナーを企画し、運営

〔主なコーナー〕

・　盲導犬、聴導犬、介助犬の仕事を学べるコーナー
・　車いすの介助や乗車体験ができるコーナー
・　簡単な手話を学べるコーナー
・　自分の家のバリアフリーをチェックするコーナー
・　ぬりえをして色のバリアフリーについて知るコーナー　など

○　スタンプを集めると景品がもらえるスタンプラリーの実施

〔スタンプラリーの達成条件〕

・　コーナー２か所、アリオ橋本内バリアフリー設備２か所、合計４か所のスタンプを、それぞれ集めること

・　スタンプラリー台紙裏面のアンケートに回答すること

**(5) 参加者数**

・　コーナー参加者数　1,825名（各団体でカウントした参加者の合計人数）

・　スタンプラリー達成者数　　341名（回収したスタンプラリー台紙のスタンプ押印数は、1,508個）

・　景 品 交 換 者 数　　332名

## ３　広報

○　東洋大学デザインチームの協力を得て、実行委員会でイベント周知用の「ちらし」を作成した。

○　各団体においては、団体内の会員を始め、様々なツールを用いて広く参加を呼びかけた。具体的な広報としては次のとおりである。

| 項番 | 広報手段 | 配付（布）先又は広報手段 |
|---|---|---|
| 1 | 団体内への<br>広報用「ちらし」配付 | ・各団体ホームページ<br>・会員へのメール |
| 2 | 広報用「ちらし」の<br>一般配布 | ・アリオ橋本のインフォメーション（イトーヨーカドー）<br>・手話サークル（聴導犬育成の会）<br>・ろう学校（聴導犬育成の会）<br>・獣医大学祭り（聴導犬育成の会）<br>・街頭募金（聴導犬育成の会）<br>・橋本駅構内（東日本旅客鉄道）<br>・長津田駅広報スタンド（佐藤光良氏）<br>・組合事務所（神奈川県旅館生活衛生同業組合）<br>・産業能率大学、東洋大学（同左） |
| 3 | インターネットでの告知 | ・ホームページ<br>・Twitter<br>・Facebook |
| 4 | 広報媒体への掲載 | ・団体定期刊行物（神奈川県視覚障害者福祉協会）<br>・当会発行の会報（聴導犬育成の会）<br>・県のたより（神奈川県） |
| 5 | テレビやラジオなど<br>マスコミを使った告知 | ・アール・エフ・ラジオ日本「夏木ゆたかのホッと歌謡曲」<br>・タウンニュースさがみはら緑区版 11 月 7 日号（神奈川県）<br>・神奈川新聞県民の窓 11 月 9 日号（神奈川県） |
| 6 | その他 | ・行きつけのラーメン屋・床屋に配架（神奈川県障害者自立生活支援センター）<br>・スタッフ近隣住民（聴導犬育成の会）<br>・神奈川県建築士事務所協会会員へメールでお知らせ（佐藤光良氏）<br>・アリオ橋本周辺小学校（神奈川県） |

※　後述の実行委員会構成団体向けアンケートや開催前に事務局に寄せられた情報提供を基に作成

# 第２章　評価

## １　アンケート結果

スタンプラリーの達成条件の１つとして、参加者に対してアンケートを実施した。

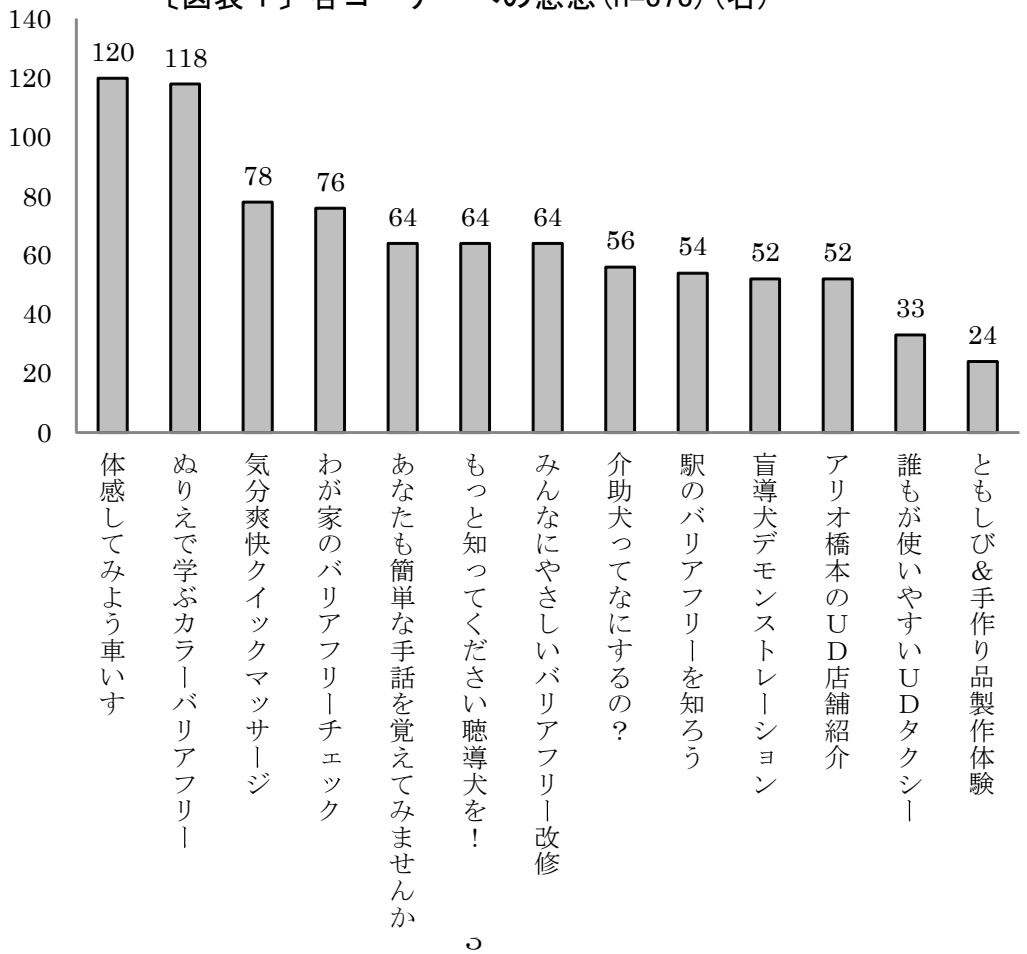
また、今後における県民会議の取組みの検討資料とするため、実行委員会構成団体に対してもアンケートを実施した。その結果は次のとおりである。

### (1) 参加者アンケート

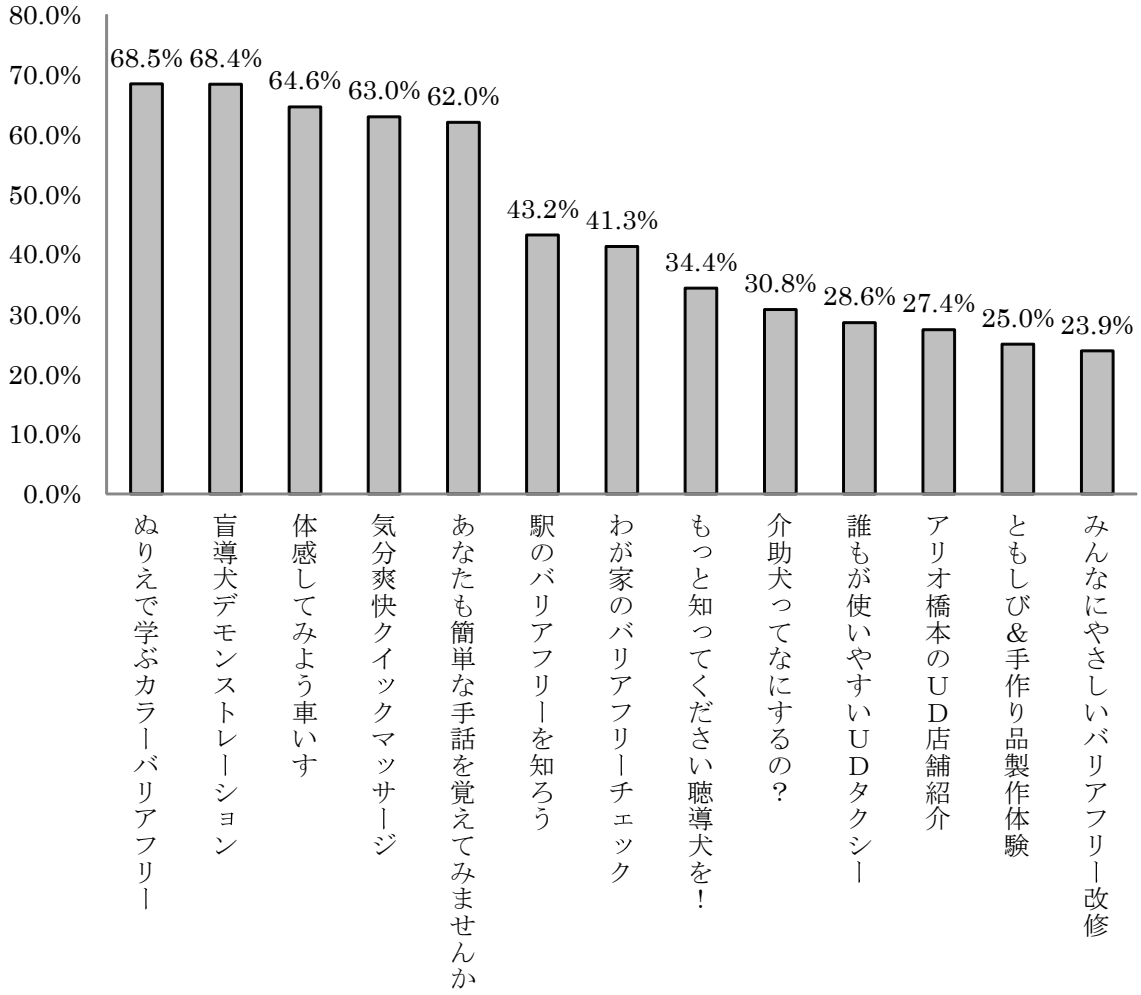
**Ｑ１　今回のフェスタで、どのコーナーがよかったですか？（複数回答可）**

- 「よかった」と思った参加者数は、「体感してみよう車いす」（120名）「ぬりえで学ぶカラーバリアフリー」（118名）がともに約120名と多かった。〔図表１〕
- また、コーナー参加者のうち何割が「よかった」と思ったか集計したところ、「ぬりえで学ぶカラーバリアフリー」（68.5%）、「盲導犬デモンストレーション」（68.4%）、「体感してみよう車いす」（64.6%）、「気分爽快クイックマッサージ」（63.0%）、「あなたも簡単な手話を覚えてみませんか」（62.0%）がそれぞれ６割を超えて多かった。〔図表２〕

〔図表１〕各コーナーへの感想(n=878)(名)



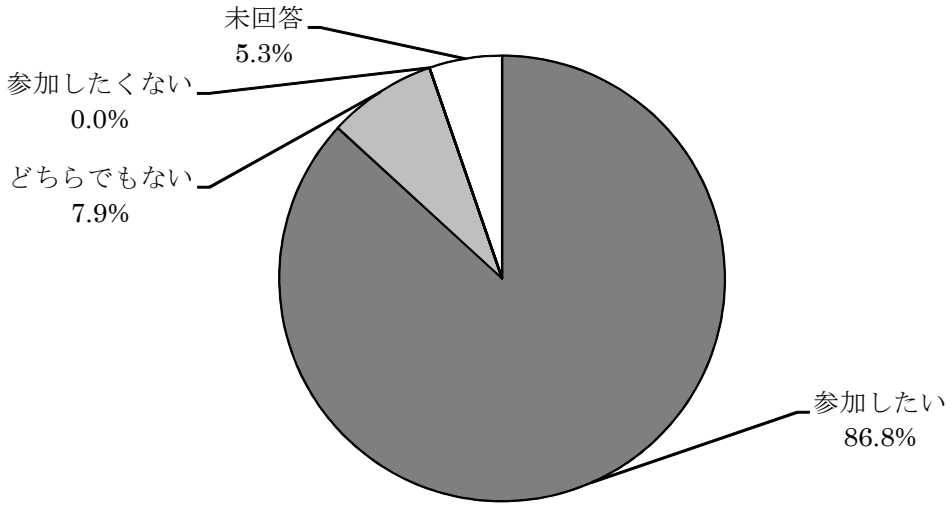
〔図表２〕各コーナーへの感想(n=1508)(%)



## Ｑ２　またバリアフリーフェスタに参加してみたいと思いますか？

・　次回フェスタに「参加したい」（86.8%）が８割台に達した。〔図表３〕

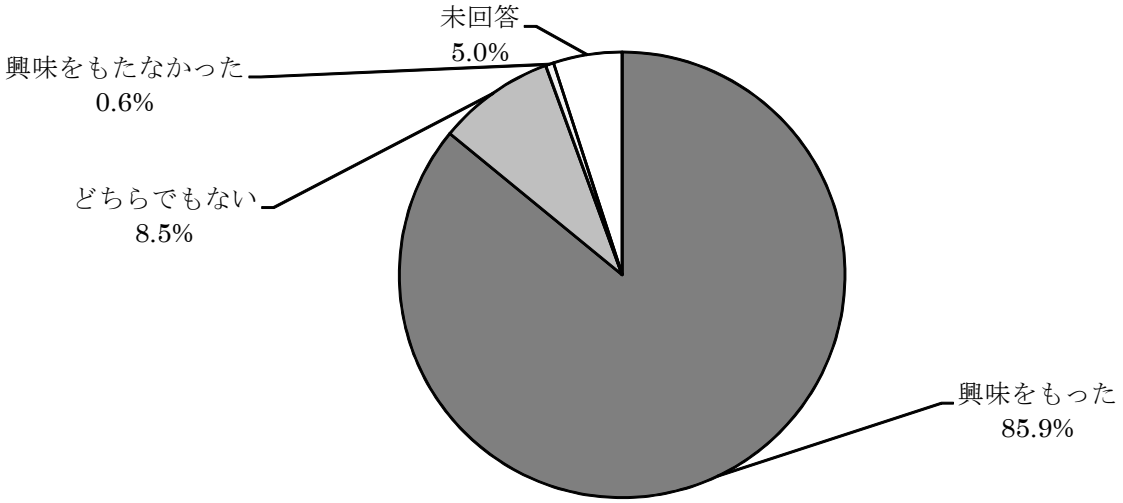
〔図表３〕次回フェスタへの参加(n=341)(%)




## Ｑ３　本日の体験を通して、バリアフリーの取組に興味をもちましたか？

・　バリアフリーの取組みに、「興味をもった」（85.9%）が８割台に達した。〔図表４〕

〔図表４〕バリアフリーの取組みへの興味(n=341)(%)



Ｑ４　本日の体験を通して、驚いたことや新しく知ったことなど、感想をお聞かせください。

〔主な意見〕

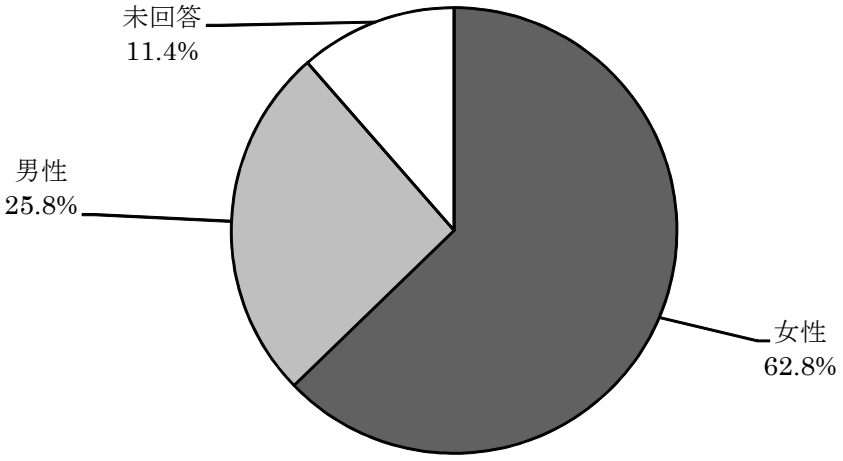
・　時間がなくてできなかったが、手話をやりたかった。（未就学児・男性）
・　高さが異なる手すりを使って階段をのぼって、のぼりやすさが違って面白かった。（未就学児・男性）
・　きょうは、いろんなことをまなんでたのしかったです。とくにくるまいすがたいへんでした。（小学生・女性）
・　車いすをおすのが自分ではたいへんなので、てつだってあげたい（小学生・女性）
・　もうどうけんのお仕事がいっぱいあると思っていたけど意外と少ない事が、わかったのでおどろいた！また、「バリアフリーフェスタ」に参加したいです。（小学生・女性）
・　車いすはそうじゅうが難しくて自分で歩ける方がいいなと思った。手話は予想以上むずかしくて、覚えきれなそう。（小学生・女性）
・　今学校の総合でバリアフリーの勉強がいみがわからなかったけど町にはいろんなバリアフリーがあるとしりました。（小学生・男性）
・　私は盲導犬こうほせいをやっていたけど知らないことがあって知れてよかったです。（小学生・女性）
・　家の中でも工夫や工夫できることを探してみようと思った。（小学生・女性）
・　もっとバリアフリーをすると、もっと良くなると思った。フェスタに行ってよかったと思う。（小学生・女性）
・　ぬりえで、いつも、自分で見ている色が、同じように、みえないことを知りました。（小学生・女性）
・　もっとスタンプがとりたかったです。（小学生・男性）
・　こうれいしゃの人は、町をあるいて、こんなにたいへんなことだな、とはじめてしりました。まえは、くるまいすにのってみたいな、とか思っていたけど、こういうたいけんをしてたいへんなことをもっとしりたいです。（小学生・女性）
・　しゅわのことがくわしくまなべました。またきたいと思いました。くるまいすもたのしかったです。（小学生・女性）
・　アリオ橋本自体でバリアフリーのとりくみをしていて、すごいと思いました。（一般20代・男性）
・　色々体験できて、よかったです。（一般30代・女性）
・　バリアフリーは、社会全体で進めるべきことだと思う。しかし、企業が取り組まない＝ダメな企業ではない、それぞれの立場で限られた予算で進めていることを知るべき。（一般30代・男性）
・　子供が小さいこともあり、バリアフリーの大切さを日頃から、実感しています。是非、こどもセンターなどに来て、イベントをやってほしいです。（一般30代・女性）
・　カラーバリアフリーのことは今日初めてしりました。色々な意味でくらしやすい町づくりがますます進められることを望みます。（一般30代・女性）
・　もっとバリアフリーについて知りたいと思った。（一般40代・女性）
・　小学校教諭です。総合の学習で福祉にとりくんでいる為、子どもたちにも声をかけて何人かきていました。こういう機会が身近な所でやっていただけるととてもありがたいです。（一般40代・男性）
・　聴導犬についてくわしくしることができてよかった。手話通訳がいてたすかりました。（一般40代・女性）
・　大変だと思いますが、年に何回かやって下さい＆他の場所もお願いします（一般 50代・男性）
・　障害に対して、いろいろな解決方法があることがわかった。（一般60代以上・女性）
・　ＪＲもきててびっくりした。内方線の実物がみたかった。（一般60代以上・女性）

Ｑ５－１　よろしければ、あなた（アンケート回答者）のことを教えてください

ア　参加者の性別

・　参加者の性別は、「女性」（62.8%）が６割台と多かった。〔図表５〕

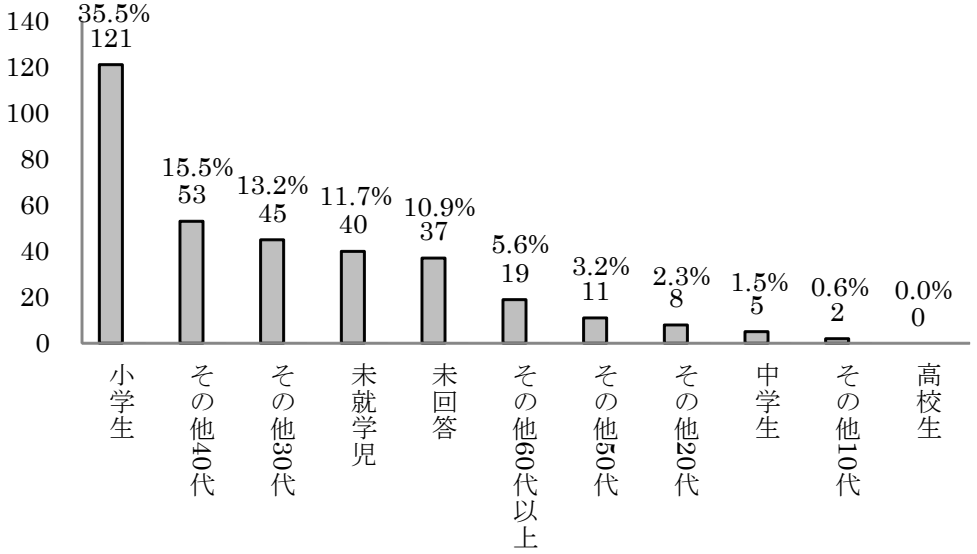
〔図表５〕参加者の性別(n=341)(%)




イ　参加者の年代

・　参加者の年代は、「小学生」（35.5%）が３割台で最も多く、「その他一般40代」（15.5%）と「その他一般30代」（13.2%）が続いた。〔図表６〕

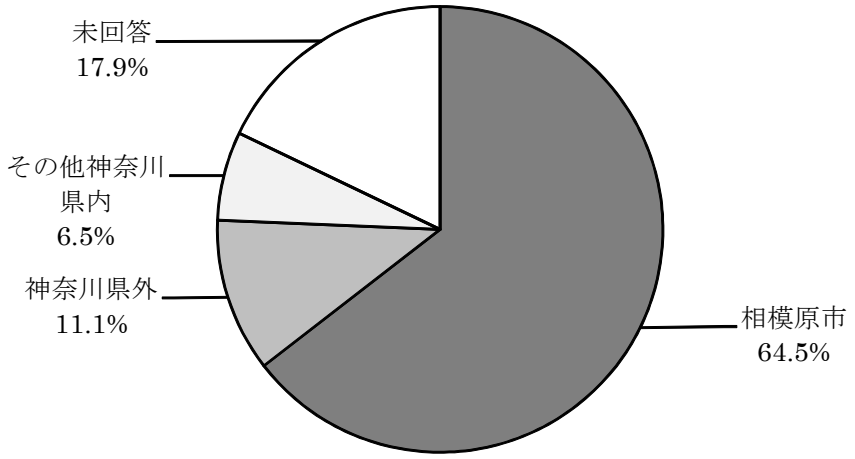
〔図表６〕参加者の年代(n=341)(%・名)



### ウ　参加者の居住地

・　参加者の居住地は、「相模原市」（64.5%）が６割台と多かった。〔図表７〕

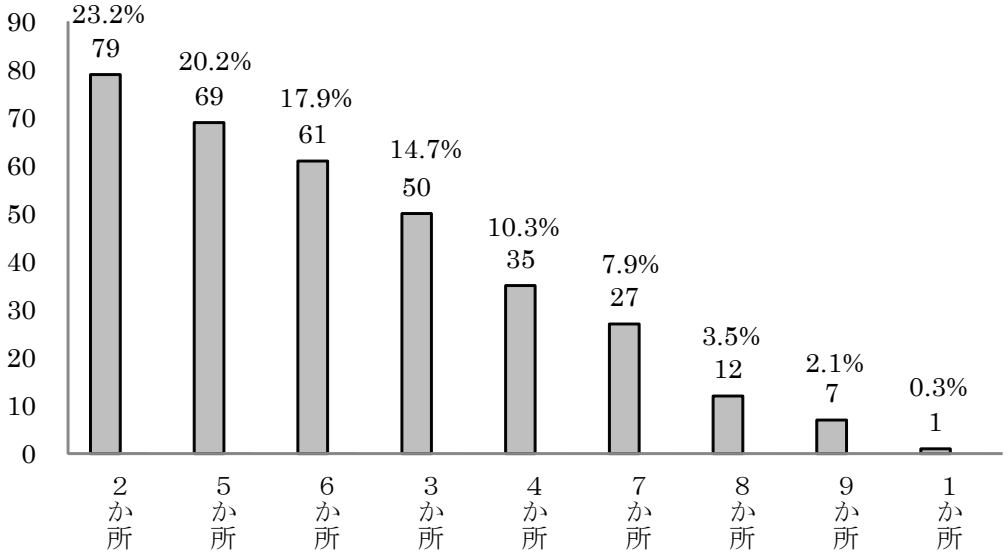
〔図表７〕参加者の居住地(n=341)(%)



## （参考１）コーナー参加数

・　スタンプの押印数から１人当たりのコーナー参加数を集計したところ、「２か所」（23.2%）が最も多く、次いで「５か所」（20.2%）が多かった。〔図表８〕

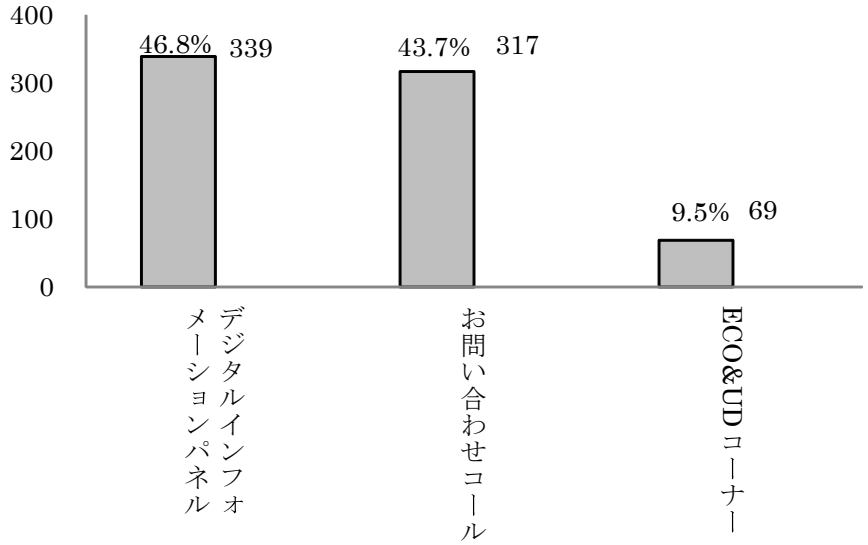
〔図表８〕コーナー参加数(n=341)(%・名)




## （参考２）アリオ橋本バリアフリー設備ごとのスタンプ押印数

・　アリオ橋本バリアフリー設備ごとのスタンプ押印数を集計したところ、「デジタルインフォメーションボード」（46.8%）と「お問い合わせコール」（43.7%）がともに４割台で多かった。〔図表９〕

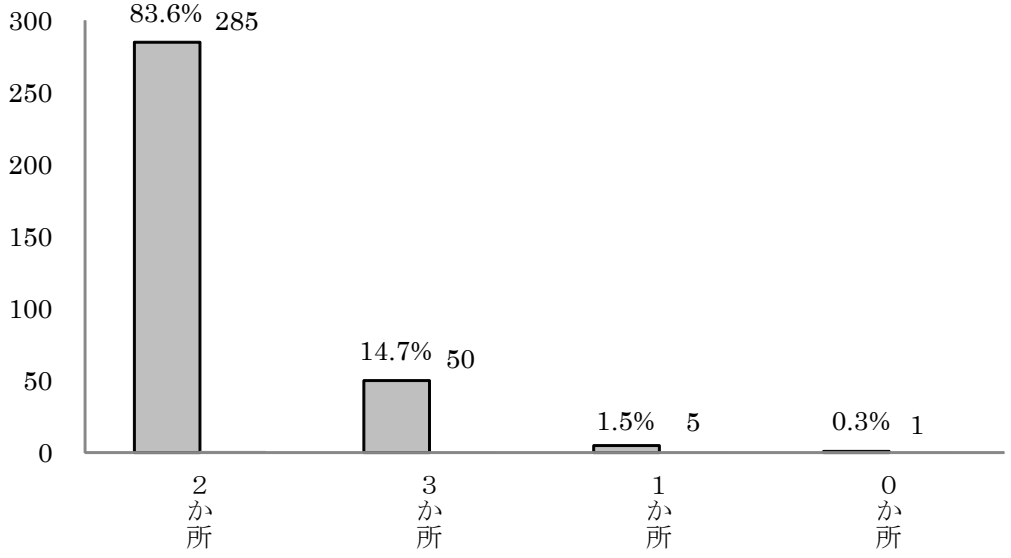
〔図表９〕アリオ橋本バリアフリー設備ごとのスタンプ押印数(n=341)(%)



## （参考３）アリオ橋本バリアフリー設備のスタンプ押印箇所数

・　スタンプの押印数から１人当たりのアリオ橋本バリアフリー設備押印箇所数を集計したところ、「２か所」（83.6%）が８割台に達した。〔図表10〕

〔図表10〕アリオ橋本バリアフリー設備のスタンプ押印箇所数(n=341)(%)



## (2) 実行委員会構成団体アンケート

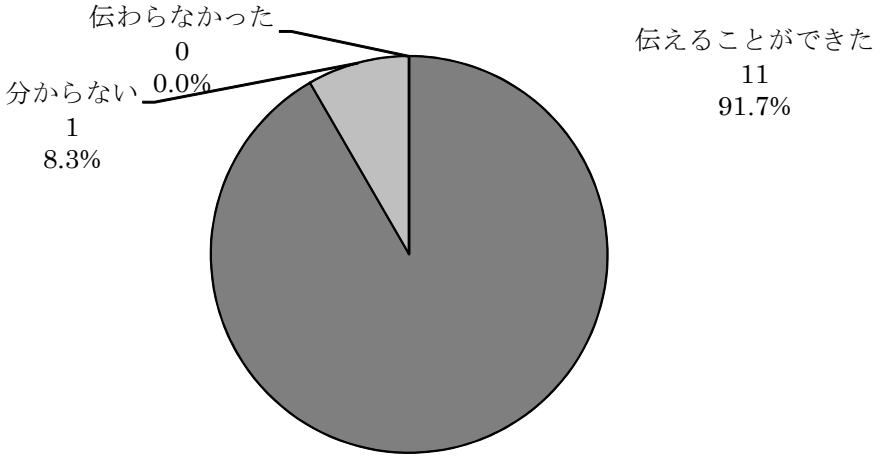
| |
|---|
| 問１　貴団体コーナーの参加人数（スタンプを押した人数）を教えてください。 |

・　第１章項番２「概要」に記載。

| |
|---|
| 問２　フェスタでは、参加者に伝えたいことを伝えることはできましたか。 |

・　「伝えることができた」が回答数12団体のうち11団体に達した。〔図表11〕

〔図表11〕フェスタでの達成度(n=12)(団体数・%)



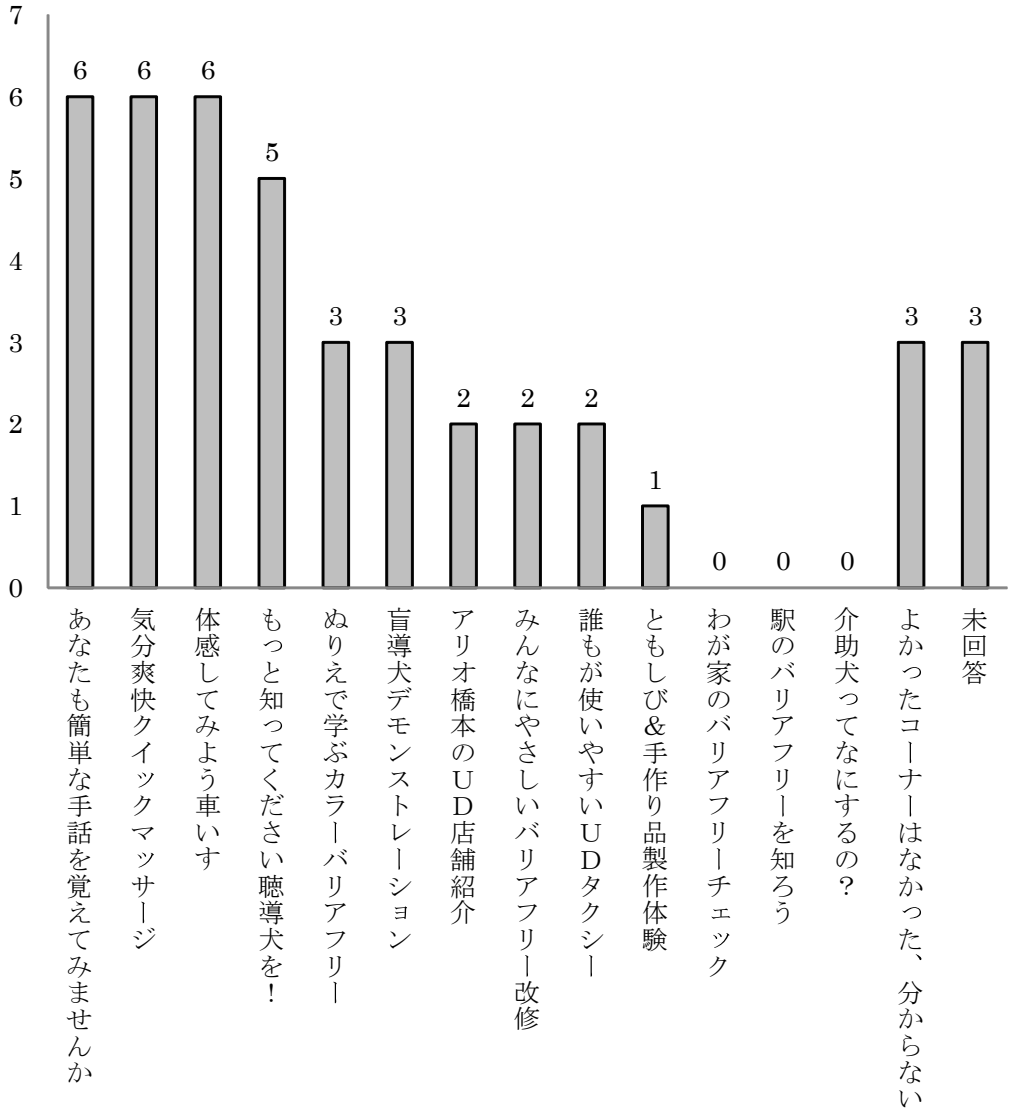

| |
|---|
| 問２－２　伝えることができなかった理由は何ですか。 |

・　「当日の対応時間が足りなかった」「フェスタの準備時間が足りなかった」「フェスタそのものの開催時間が足りなかった」という理由が挙げられた。

問３　貴団体以外のコーナーで、よかったと思うコーナーはどれですか。
（複数回答３つまで）

・　「よかった」と思った団体は、「あなたも簡単な手話を覚えてみませんか」、「気分爽快クイックマッサージ」、「体感してみよう車いす」がともに６団体と多かった。〔図表12〕

〔図表12〕各コーナーへの感想(n=42)(団体)



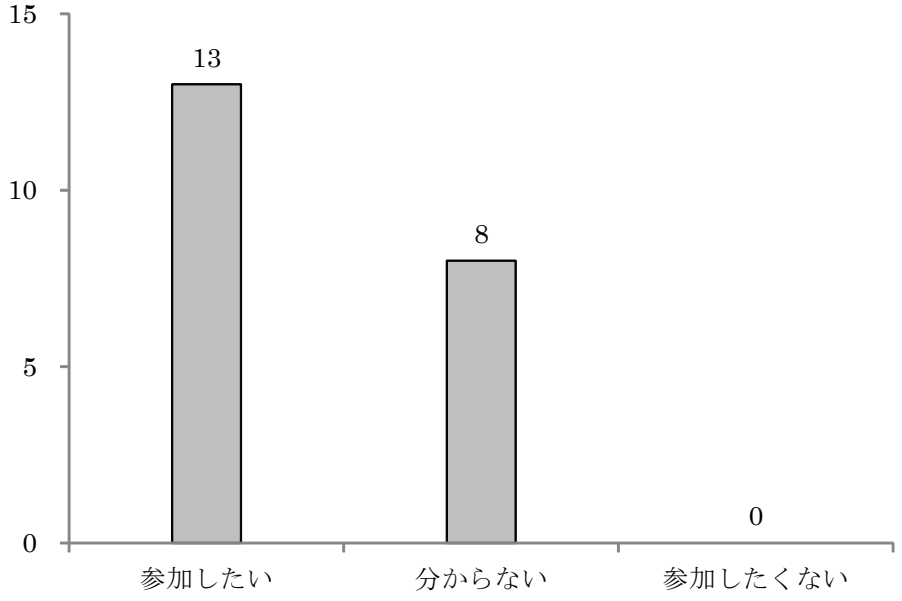

問４　貴団体において、今回のフェスタで行った広報を記載してください。

・　第１章項番４「広報」に記載。

**問５　次回フェスタが開催されるとしたら、また参加したいと思いますか。**

・　次回フェスタに「参加したい」が回答数21団体のうち13団体と多かった。〔図表13〕

**〔図表13〕次回フェスタへの参加(n=21)(団体)**




**問５－２　参加したいと思えなかった理由は何ですか。（複数回答可）**

・　「スタッフが確保できない」という理由が４団体と多かった。
・　そのほかとして、「企画運営に関わるほうが適切」「他イベントとの調整」「会員からの発案が必要」「現時点では不明」といった回答があった。

## ２　分析

○　項番１で記した「参加者」及び「実行委員会構成団体」に対するアンケートなどを基に、フェスタの目的が達成できたかどうか検証する。

○　具体的には、第１章項番２で示した６つの「企画の考え方」、すなわち「(1) 協働」「(2) 不特定多数の参加」「(3) 当事者団体・事業者団体の参加」「(4) 多くの意見収集」「(5) 参加型・体験型」「(6) ユニバーサルデザイン」の観点から評価する。

### (1) 協働

○　県民会議では、県民意見を基に、バリアフリーの街づくりに向けて、県民・事業者・行政が協働して取り組むべきことを、提案書としてまとめ、県民会議の構成団体を中心に、本提案に基づいた取組みを進めている。この取組みの一環として、県内の障害者等の関係団体や事業者・ＮＰＯ団体、県民から公募委員、大学、行政の協働により、フェスタは開催された。

○　参加者から「いろいろな体験ができてよかった」と意見があったように、各団体の取組みを一堂に会したことで、参加者の多様なニーズに対応することができた。その結果、スタンプラリーの達成条件よりも多くのコーナーに参加・体験した参加者が７割台に達したことに加え、バリアフリーの取組みに「興味をもった」が８割に達するなど、高い満足度につながる一因となった。

○　また、実行委員会構成団体から「各団体がそれぞれ主体性と責任をもって開催できた」と意見があったように、各団体ができることをフェスタの資源として提供することで、商業施設という会場設定や当事者による説得力など、一団体だけでは難しい開催形態を実現することができ、協働の相乗効果を発揮することができた。

### (2) 不特定多数の参加

○これまでバリアフリー関連のイベントは、より広く様々な立場の方々に参加を呼びかけていたものの、結果的にバリアフリーに興味のある方のみの参加にとどまることが多かった。

○　今回のフェスタでは、バリアフリーに興味のない方々にバリアフリーの街づくりに向けた取組みを知ってもらうため、１日数万人単位で人が集まる商業施設「アリオ橋本」を開催会場とした。

○　施設の特性上、子どもと若いパパ・ママという、いわゆる「ニューファミリー層」に偏りが見られたが、フェスタを目当てに来場した方だけでなく、買い物に来店したらたまたま開催していたので立ち寄ってみたという理由で来場する方もおり、不特定多数の参加を促すという目的は十分に達成された。

○　また、コーナー参加者数約 1,800 名、スタンプラリー参加者数 341 名と、バリアフリー関連のイベントとしては、多くの人数を集客することができた。

### (3) 当事者団体・事業者団体の参加

○　県民会議で取りまとめた提案書のテーマの１つとして、「多様な人が住まう「街」への気づき、障害者理解の促進」を挙げている。バリアフリーを推進するに当たっては、異なるニーズを持つ当事者同士が交流することにより他者への理解を深めるとともに、障害当事者の声を十分に聞くことが欠かせない。また、視覚障害の方にとって必要な視覚障害者用誘導ブロックは、高齢者や車いす利用者にとっては移動のバリアになることもあるなど、立場により考え方が相違していることから、障害当事者間の相互理解も必要である。こうした考え方を踏まえ、フェスタでは当事者団体や事業者団体の自主的な参加を促すことで、当事者同士が交流するきっかけを提供し、提案書のテーマを実践することとした。

○　参加者アンケートでは、バリアフリーの取組みに「興味をもった」が８割に達するなど、障害当事者の参加により説得力の効果が十分に現れた。また、実行委員会構成団体からも「こういう機会をもつことでそれぞれをつなぐことが目に見えて分かってきた」「それぞれの団体の方と話ができたことは有意義な時間でした。」と意見があったように、「当事者団体・事業者団体間」や「障害当事者間」における相互理解の促進に貢献することができた。

### (4) 多くの意見収集

○　ユニバーサルデザインの考え方に基づく街づくりを進めていくに当たっては、様々な立場の方の意見を聴き、取組みに反映していくことが重要である。そこで、フェスタでは、参加者に対してバリアフリーの街づくりに関する意見を聞けるよう、アンケートを実施し、スタンプラリーの達成条件の１つとした。

○　スタンプラリー達成者 341 名のうち 201 名が自由意見を記載し、多くの意見を収集することができた。いただいた意見は、今後、必要に応じてバリアフリーの街づくりに向けた取組みに反映していくこととする。

### (5) 参加型・体験型

○　バリアフリー学習については、本人が実際に体験することが効果的と言われている。また、フェスタでは別の目的をもって来場した、不特定多数の方を呼び込む必要があったため、来場者が気軽・身近に感じられる内容とする必要があった。

○　各コーナーでは、車いす乗車・介助体験、手話教室、階段の昇降など、参加型・体験型の内容が多く、受入可能最大人数に近い参加者数を集客することができた上、参加者アンケートでもバリアフリーの取組みに「興味をもった」率が高かった。

○　しかしながら、参加者アンケートの自由意見では、「大変だった」「楽しかった」「かわいそうだった」という内容が多く、「心のバリアフリー」の理解促進という点では物足りないところもあった。

### (6) ユニバーサルデザイン

○　県民会議の議論を踏まえ、フェスタでは来場者又はスタッフの誰もが安全・安心に参加できるように配慮したイベントとすることとした。

○　具体的には、

・　開催会場は、バリアフリー設備が充実した、アリオ橋本（第３回バリアフリー街づくり賞表彰施設）を設定

・　150cm 以上の通路幅を確保

・　会場ごとに手話通訳者を配置

・　「ちらし」にＳＰコードを貼付

・　配布物・掲示物はカラーバリアフリーに配慮するとともに、できるだけふりがなを記載

といったように、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた運営としたことから、参加者からバリアを感じたという意見は寄せられなかった。

○　なお、車いすのスタッフに対して、十分な施設内の駐車場を確保することができなかった。不特定多数の方が使う商業施設であるため、多数の駐車場を占有できないという制約はあったものの、課題の１つとして挙げられる。

## ３　まとめ

フェスタについて、これまで６つの観点から検証してきたが、一部に課題はあったものの、おおむね高い評価が与えられるものであった。バリアフリーの街づくりに対する理解を深めるに当たって、フェスタは有効な手段であったと思われる。

また、参加者アンケートでは、次回フェスタに「参加したい」が８割に達し、実行委員会構成団体アンケートでも、13 団体が「参加したい」と回答している。自由意見でも参加者・実行委員会構成団体ともに次回開催を望む声が多く寄せられた。

このように、フェスタの有効性・ニーズが高いことから、第１章項番２で示した６つの「企画の考え方」の考え方を踏まえつつ、継続的にフェスタを開催していくとよい。

## 第３章　今後の実施に当たっての課題

次回フェスタを開催するに当たり、検討すべき課題について、「実行委員会構成団体」に対するアンケートなどを基に、「概要」「運営面」の区分で記載する。

### １　概要

#### (1) 企画の考え方

〔主な検討課題〕
・　根付きのための新たな「企画・立案に当たっての考え方」の検討

○　バリアフリーの街づくりに向けたソフト的な取組みは、定期的に継続していくことが重要であり、フェスタについても継続性が求められる。今回のフェスタでは手探りで実施したものを、根付かせていく必要がある。

○　そこで、今回の「企画・立案に当たっての考え方」は継承しつつ、根付きのための新たな「考え方」を付加することを検討する。

○　なお、「実行委員会構成団体」に対するアンケートでは、「継続学習に向けた興味を持続させるための仕掛けが必要」、「今後のバリアフリーフェスタかながわでは、その回毎に主題となるテーマを掲げるとよい」といった趣旨の意見もあった。

#### (2) 日程

○　天気に恵まれたこともあり、例年どおりの気温で、参加者及びスタッフから時期についての意見はなかった。開催会場の空き状況を踏まえながら、比較的過ごしやすい 10 月又は 11 月を念頭に検討するとよい。

○　なお、「実行委員会構成団体」に対するアンケートでは、「スタッフの代休を取ることが難しいため、開催は土曜日のほうが、次の日に休めてありがたい。」といった意見もあった。

#### (3) 開催会場

○　「参加者」及び「実行委員会構成団体」に対するアンケートでは、「また参加したい」「次は○○を体験したい」など、同じ会場での開催を前提とする意見が寄せられた一方で、「他の場所でもやってほしい」「県内の場所を替えていろいろなところで行うことがよい」など、別会場での開催を望む意見もあった。

○　同会場で開催するメリットとしては、参加者に対して定期的かつ継続的に働きかけることにより、バリアフリーの街づくりに向けた取組みを効果的に普及できることや、参加団体が会場・参加者の特性を把握できているため、コーナー内容の充実を図りやすいことが挙げられる。一方、デメリットとしては、普及範囲が限られ、他の地域でのバリアフリーの街づくりの取組みが広がりにくいことなどが挙げられる。

## ２　運営面

### (1) 運営体制

〔主な検討課題〕
・　全体運営の体制強化に向けた検討

○　「統括」３名、「統括補助」６名、「その他スタッフ」17 名から構成される、「全体運営スタッフ」と、「各コーナースタッフ」77 名の計 103 名の体制となった。全体運営と各コーナーとの調整は、「統括補助」と「コーナーリーダー」が行うこととした。「全体運営スタッフ」は、人数不足が見込まれていたため、産業能率大学と東洋大学から、学生ボランティアを募ることとした。

○　「実行委員会構成団体」に対するアンケートで意見があったように、今回は「学生の協力で成功裏に終わった」が、ボランティアという特性上、個人の資質に頼るところが大きいため、趣旨を踏まえた臨機応変な対応や、安定性を求めることは難しい。また、単純作業の人数は確保できたものの、一部の「統括補助」がボランティアに対する指揮監督に専念することとなったため、各コーナーリーダーと調整できる「統括補助」の人数がさらに不足した。

　また、「実行委員会構成団体」に対するアンケートでは、統括補助が調整の役割を十分に果たせず、全体運営と各コーナーとの連携が弱まっていたという意見がいくつか見受けられた。

○　今後の対応として、実行委員会委員が「全体運営スタッフ」になるなど、全体運営の体制強化を図る必要がある。これにより「実行委員会構成団体」の主体性を促進することも期待できる。

### (2) スケジュール

〔主な検討課題〕
・　スタッフ及び参加者に配慮した開催時間の検討

○　設営準備スタッフは８時 45 分、その他スタッフは 10 時集合とし、11 時からの開催に向けて準備を進めたが、設営準備スタッフの人数不足・設営準備の時間不足により、その他スタッフ集合時に全体運営の管理が行き届かなかった。

○　「実行委員会構成団体」に対するアンケートでは、「準備の時間にもう少しゆとりがあれば、企画や当日の搬入搬出の人材確保がもっとできた」と意見もあったことから、設営準備時間を 30 分程度延長するとともに、設営準備スタッフの集合時間を踏まえながら、フェスタ開催時間を検討する必要がある。

○　なお、フェスタ開催時間を遅くしたときは、参加者から「もっと多くのコーナーを体験したかった」という意見があったことも踏まえつつ、十分な体験時間を確保できるよう、終了時間にも配慮する必要がある。

### (3) 会場レイアウト・備品

〔主な検討課題〕
- 会場レイアウト・備品・音響施設について、各団体による主体的な調整
- ２会場制としたときの一体感を高める方策の検討

○　各コーナーのレイアウトや、机・椅子・パーテーションなどの備品については、実行委員会で事前調整をしたものではあったが、「実行委員会構成団体」に対するアンケートによると、「もう少し広いスペースがほしかった」「掲示するためのパーテーション（壁面）がほしかった」など、実際に実施すると、不足感があったようである。会場全体の音響設備をコーナー運営に利用していたため、他コーナーでの説明が聞き取りにくいこともあった。

○　また、今回はアクアガーデン・フロントガーデンの２会場で開催したが、フロントガーデンの参加者数がフロントガーデンに比べて少なく、参加団体やスタッフからも、アクアガーデンの盛り上がりがフロントガーデンに伝わらず、両会場の一体感があまり感じられなかったという声が寄せられた。

○　まず、会場面積や備品数については、限りがあり、すべての団体の要望を満たすことは難しいため、各団体が主体的に実行委員会などの事前調整に参加する必要がある。音響設備の使い方についても検討する必要がある。

○　また、２会場制とした場合でも、一方の会場の盛り上がりをもう一方の会場にも伝わりやするなど、一体感を高める工夫を検討したい。

### (4) 集客手段（スタンプラリー・補助犬・乗り物・ゆるキャラ）

〔主な検討課題〕
- 主たる対象者に対して、効果的な集客手段の検討

○　参加者の３分の１が小学生であったこともあり、スタンプラリー・福引きのワクワク感、動物のかわいさ、乗り物への好奇心などを利用した、分かりやすい集客手段は有効であったと思われる。参加者のアンケートでも、「もっとスタンプが取りたかった」「盲導犬がかわいかった」「駅の工事が夜中にやっていて驚いた」と、集客手段として有効であったことがうかがえた。

○　今回のように子どもが主な対象となる場合は、普段から馴染みのある分かりやすい集客手段を検討し、さらなる充実を図るとよい。これらの集客手段は、実際に子育て中の方からの助言をきっかけに立案されたものである。集客手段の検討に当たっては、主な対象をよく知る方の意見が大切となる。

○　なお、スタンプラリーの達成条件については、達成条件以上のコーナーに参加・体験した参加者が７割台に達したことを踏まえ、より多くのコーナーを参加・体験を促す達成条件を検討したい。

○　また、ゆるキャラの効果については、「参加者」及び「実行委員会構成団体」に対するアンケートに記載はなかったが、小さな子どもを連れた家族が足を止め、ゆるキャラとの触れ合い後、会場に立ち寄っていたことから、集客手段として効果があったと思われる。なお、ゆるキャラ担当者によると、フェスタとゆるキャラの関係が伝わりにくかったということなので、増員した介添えにのぼりを持たせるなど、フェスタとの関連性を高める方策についても検討したい。

### (5) 事前広報

**〔主な検討課題〕**
- **広報時期の検討**
- **広報効果についての分析方法の検討**
- **「実行委員会構成団体」による主体的なちらしの作成**

○　イベント周知用の「ちらし」は、東洋大学デザインチームで案を作成し、実行委員会で決定した。各団体においては、「ちらし」などを使って、第１章項番４で述べたように、団体内の会員を始め広く参加を呼びかけた。特徴的な点として、アリオ橋本周辺の小学校 11 校・約 8,300 名に、「ちらし」を配布した。

○　結果的に、小学生約 120 名が参加し、参加者の３分の１を小学生が占めた。また、参加者アンケートでは、「子どもたちにも声をかけて参加を促した。バリアフリーを体験する機会となり、とても有難かった。」という小学生教諭からの意見もあった。小学校配布による集客効果が高かったことがうかがえることから、小学校への広報は継続したい。

○　なお、「実行委員会構成団体」に対するアンケートで、「もっと早くから事前周知してほしい。今回知らない人が多かった。」という意見が寄せられたことも踏まえ、広報の開始時期についても検討することとしたい。

　また、今回は参加者アンケート用紙の文量に限りがあり、フェスタを知ったきっかけを確認することはできなかったが、効果的な広報について分析が必要なときはアンケートに項目追加を検討したい。

○　また、「ちらし」のデザインは、個人の資質に頼るところが大きいため、フェスタの根付きを見据えて、「実行委員会構成団体」が主体的に作成できるよう、検討したい。

## (6) 当日広報

〔主な検討課題〕
・　効果的な誘導方法・体制の検討

○　アリオ橋本における当日の広報としては、各種掲示板への「ちらし」掲載と、来客者への「ちらし」配布を行った。

○　参加者から、「アリオ橋本のインフォメーションパネルでフェスタの案内を検索したが、案内が出なかった」と意見が寄せられたことから、多くの方が利用する施設案内板等に掲示するなどの誘導を調整・検討したい。

○　また、「参加者」及び「実行委員会構成団体」に対するアンケートに記載はなかったが、ちらし配布担当によると、「ちらし」を受け取り、会場に足を向けてくれたという感触があまり得られず、効果があったとは言い難かったということなので、呼び込みを中心とするなど、より効果的な集客方法・体制を検討したい。

資料１

# バリアフリーフェスタかながわ2013

## アリオ橋本

アクアガーデン・フロントガーデン

平成25年11月17日(日)

11:00～16:00

主催：神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議

チラシ制作・デザイン：小泉 佑太、関根 貴大、三尾 真里奈（東洋大学 人間環境デザイン学科 3年）

# バリアフリーの体験や展示をしています

体験が盛りだくさん！
スタンプラリーもあるよ！

**介助犬ってなにするの？**
(社福)アジアワーキングドッグサポート協会

**アリオ橋本のＵＤ店舗施設紹介**
(株)イトーヨーカ堂

**気分爽快クイックマッサージ**
(特非)神奈川県視覚障害者福祉協会

**ともしび運動の紹介**

**障害のある方との手作り品製作体験**
(社福)神奈川県社会福祉協議会

**体感してみよう車いす**
(特非)神奈川県障害者自立生活支援センター

**誰もが使いやすいＵＤタクシー**
(一社)神奈川県タクシー協会

**あなたも簡単な手話を覚えてみませんか**
(公社)神奈川県聴覚障害者協会

**わが家のバリアフリーチェック**
(公社)かながわ住まいまちづくり協会

**ぬりえで学ぶカラーバリアフリー**
(特非) カラーユニバーサルデザイン機構／神奈川県

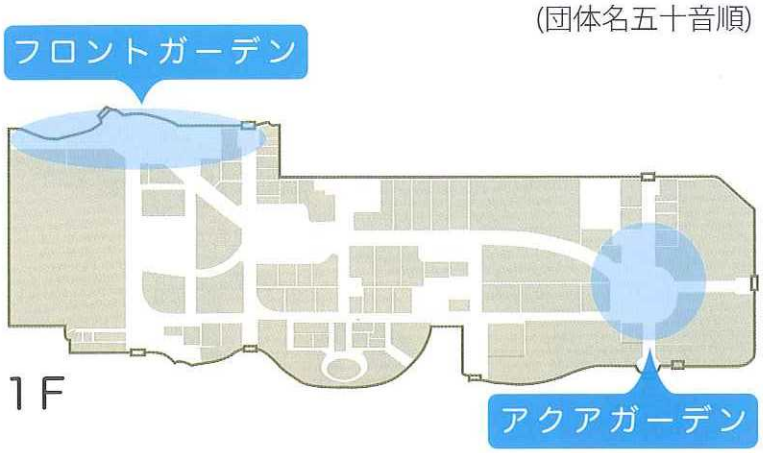
**もっと知ってください聴導犬を！**
(特非) 聴導犬育成の会

**盲導犬デモンストレーション**
(公財) 日本盲導犬協会

**駅のバリアフリーを知ろう**
東日本旅客鉄道(株)横浜支社

**みんなにやさしいバリアフリー改修**
(特非)横浜市まちづくりセンター

(団体名五十音順)



障害のある方との製作体験

聴導犬のおしごと

カラーバリアフリーを体験

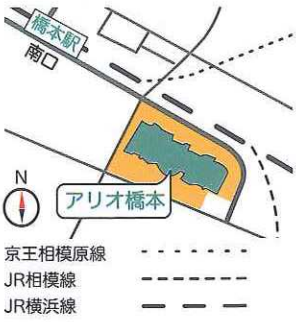
車いすにのってみよう

## 会場・アクセス

**アリオ橋本** アクアガーデン フロントガーデン

〒252-0146
神奈川県相模原市緑区大山町１－22
tel.042-779-3311

京王相模原線・JR横浜線・JR相模線
橋本駅より徒歩５分




## みんなで進めよう！バリアフリーのまち

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議では、障害者、高齢者、妊産婦、乳幼児連れの方などが安心して生活し、自らの意思で自由に移動し、社会に参加できる街づくりを進めています。その一環として県内の障害者等の関係団体や事業者・ＮＰＯ団体、県民から公募委員、大学、行政の協動により、「バリアフリーフェスタかながわ」を開催します。フェスタでの様々な楽しいワクワクする体験を通じて「バリアフリーの街づくりってなに？」をぜひ感じてみてください！

バリアフリーフェスタかながわ2013

# スタンプラリー

① **ぬりえで学ぶカラーバリアフリー**
(特非)カラーユニバーサルデザイン機構/神奈川県
ぬりえをして色のバリアフリーについて知ろう！

② **アリオ橋本のＵＤ店舗施設紹介**
(株)イトーヨーカ堂
店舗でのユニバーサルデザインを紹介します！

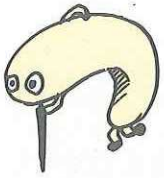
③ **みんなにやさしいバリアフリー改修**
(特非)横浜市まちづくりセンター
家のバリアフリーの工夫について知ろう！

④ **わが家のバリアフリーチェック**
(公社)かながわ住まいまちづくり協会
自分の家のバリアフリーをチェックしてみよう！

⑤ **駅のバリアフリーを知ろう**
東日本旅客鉄道（株）横浜支社
駅のバリアフリーはどのようにつくられているのかな？

⑥ **ともしび運動の紹介**
**障害のある方との手作り品製作体験**
(社福)神奈川県社会福祉協議会
ともしび運動や地域作業所の方と製作体験をしてみよう！

⑦ **あなたも簡単な手話を覚えてみませんか** ※
(公社)神奈川県聴覚障害者協会
ミニ手話教室をやっています！



⑧ **気分爽快クイックマッサージ**
(特非)神奈川県視覚障害者福祉協会
クイックマッサージを受けてリラックスしよう！

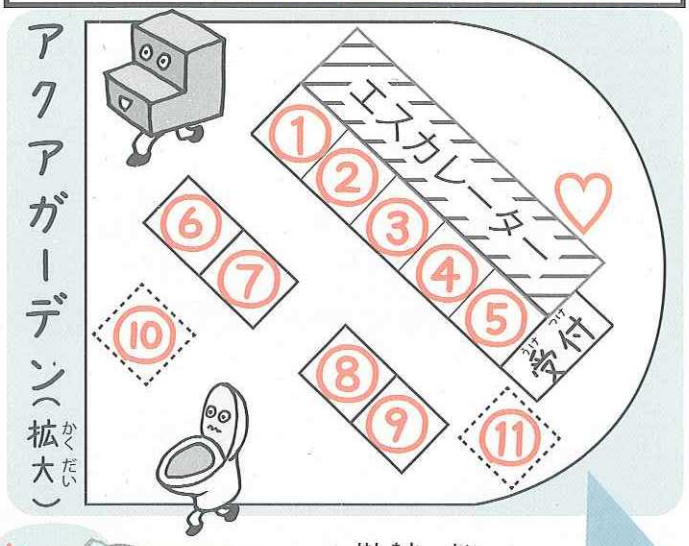
⑨ **体感してみよう車いす**
(特非)神奈川県障害者自立生活支援センター
車いすに乗って、車いすと触れ合おう！

⑩ **もっと知ってください聴導犬を！** ※
(特非)聴導犬育成の会
聴導犬のお仕事を知ろう！

⑪ **介助犬ってなにするの？**
(社福)アジアワーキングドッグサポート協会
介助犬のお仕事を知ろう！

♡ **デジタルインフォメーションパネル**
アリオ橋本内の情報を見ることができるよ！

※…体験できる時間が決まっています



⑫ **誰もが使いやすいＵＤタクシー**
（一社）神奈川県タクシー協会
タクシーのユニバーサルデザインを知ろう！

⑬ **盲導犬デモンストレーション** ※
(公財)日本盲導犬協会
盲導犬のお仕事を知ろう！

☆ **ECO&UDコーナー**
アリオ橋本内にあるエコとユニバーサルデザイン設備の紹介！

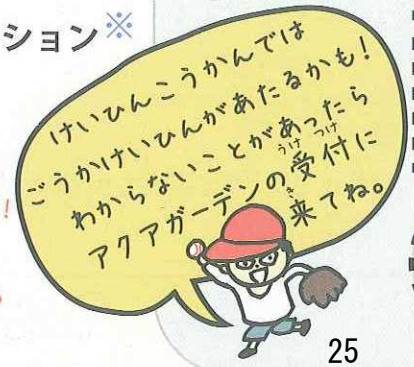
♪ **お問い合わせコール**
アリオ橋本で困ったことがあったら連絡しよう！

## ルールせつめい！！

アリオ橋本にあるユニバーサルデザインの場所（☆♪♡マーク）とフェスタの各コーナーにスタンプがあるよ！

☆♪♡マークと各コーナーのスタンプを2つずつ以上あつめてね！

スタンプをあつめて、うら面のアンケート（保護者記入可）を書いてくれたら、けいひんこうかんができるよ！




| | | | |
|---|---|---|---|
| 各コーナースタンプ | 各コーナースタンプ | 各コーナースタンプ | 各コーナースタンプ |
| ☆♪♡マークの場所スタンプ | ☆♪♡マークの場所スタンプ | ☆♪♡マークの場所スタンプ | 各コーナースタンプ |

# アンケート（保護者記入可）

**Q1：今回のフェスタで、どのコーナーがよかったですか？番号に○をつけてください**
**（いくつ○をつけてもよいです）**

1 **ぬりえで学ぶカラーバリアフリー**
(特非)カラーユニバーサルデザイン機構/神奈川県

2 **アリオ橋本のＵＤ店舗施設紹介**
(株)イトーヨーカ堂

3 **みんなにやさしいバリアフリー改修**
(特非)横浜市まちづくりセンター

4 **わが家のバリアフリーチェック**
(公社)かながわ住まいまちづくり協会

5 **駅のバリアフリーを知ろう**
東日本旅客鉄道（株）横浜支社

6 **ともしび運動の紹介**
**障害のある方との手作り品製作体験**
(社福)神奈川県社会福祉協議会

7 **あなたも簡単な手話を覚えてみませんか**
(公社)神奈川県聴覚障害者協会

8 **気分爽快クイックマッサージ**
(特非)神奈川県視覚障害者福祉協会

9 **体感してみよう車いす**
(特非)神奈川県障害者自立生活支援センター

10 **もっと知ってください聴導犬を！**
（特非）聴導犬育成の会

11 **介助犬ってなにするの？**
(社福)アジアワーキングドッグサポート協会

12 **誰もが使いやすいＵＤタクシー**
（一社）神奈川県タクシー協会

13 **盲導犬デモンストレーション**
(公財)日本盲導犬協会

**Q2：またバリアフリーフェスタに参加してみたいと思いますか？○をつけてください**

参加したい　　どちらでもない　　参加したくない

**Q3：本日の体験を通して、バリアフリーの取組に興味をもちましたか？○をつけてください**

興味をもった　　どちらでもない　　興味をもたなかった

**Q4：本日の体験を通して、驚いたことや新しく知ったことなど、感想をお聞かせください**

たとえば→たくさんのバリアフリーの取組があることを知り、まちの中のバリアフリーをもっと探してみようと思った。

**Q5：よろしければ、あなた（アンケート回答者）のことを教えてください**

性別：男性・女性

年代：未就学児・小学生・中学生・高校生・
その他一般（10代・20代・30代・40代・50代・60代以上）

お住まい：相模原市・その他神奈川県内・神奈川県外

**アンケートにご協力ありがとうございました**

資料２

平成25年10月24日
記 者 発 表 資 料
〔県政・相模原記者クラブ　同時発表〕

# バリアフリーフェスタかながわ2013開催！
## ～たくさんのバリアフリーを体験してみよう～

○　本県では、障害者や高齢者等が安心して生活し、自らの意思で自由に移動し、社会に参加できる、バリアフリーの街づくりに向けて、「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例（平成25年１月条例第32号）に基づく施策を、障害者等の関係団体や事業者、県民と協働して進めています。

○　その一環として、この度、条例の推進組織である「神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議〔別紙〕」の主催により「バリアフリーフェスタかながわ2013」を開催します。

○　この催しは、県民会議に設置された同フェスタ実行委員会（委員長：菅原麻衣子東洋大学ライフデザイン学部准教授）が、同学部菅原研究室の協力を得て、企画・立案したもので、バリアフリーの街づくりを体感し、理解を深めていただけるよう開催するものです。

○　事前申込は不要です。多くの皆さんの御来場をお待ちしております。

**１　主催**

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議（座長　斉藤進氏　産業能率大学情報マネジメント学部教授）

**２　日時・場所**

平成25年11月17日（日曜日）　11時から16時まで
アリオ橋本（相模原市緑区大山町１－22）「橋本駅南口」徒歩５分

**３　内容**

詳細は、別添「チラシ」を御覧ください

○　県民会議構成団体を含む14団体が13コーナーを企画し、運営します。

〔主なコーナー〕

- 盲導犬、聴導犬、介助犬の仕事を学べるコーナー
- 車いすの介助や乗車体験ができるコーナー
- 簡単な手話を学べるコーナー
- 自分の家のバリアフリーをチェックするコーナー
- ぬりえをして色のバリアフリーについて知るコーナー　など

○　各コーナーなどに設置されたスタンプを集めると景品がもらえるスタンプラリーも実施します。

問い合わせ先
神奈川県保健福祉局福祉部地域福祉課
（神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議事務局）
課長　西條　　電　話　045-210-4740（直通）
調整グループ　黒田　　電　話　045-210-4804（直通）
ﾌｧｸｼﾐﾘ　045-210-8857

資料３

# 参加者アンケート （保護者記入可）

Ｑ１：今回のフェスタで、どのコーナーがよかったですか？番号に〇をつけてください
（いくつ〇をつけてもよいです）

上段：回答数、中段：参加者数のうち回答数/参加者数、下段：中段の割合(%)

（n=上段：878、中段：656/1508）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | **ぬりえで学ぶカラーバリアフリー**<br>**(特非)カラーユニバーサルデザイン機構/神奈川県** | 118<br>115/168<br>68.5% | 8 | 気分爽快クイックマッサージ<br>**(特非)神奈川県視覚障害者福祉協会** | 78<br>68/108<br>63.0% |
| 2 | **アリオ橋本のＵＤ店舗施設紹介**<br>(株)イトーヨーカ堂 | 52<br>45/164<br>27.4% | 9 | 体感してみよう車いす<br>**(特非)神奈川県障害者自立生活支援センター** | 120<br>106/164<br>64.6% |
| 3 | **みんなにやさしいバリアフリー改修**<br>(特非)横浜市まちづくりセンター | 64<br>53/222<br>23.9% | 10 | **もっと知ってください聴導犬を！**<br>(特非)聴導犬育成の会 | 64<br>44/128<br>34.4% |
| 4 | **わが家のバリアフリーチェック**<br>**(公社)かながわ住まいまちづくり協会** | 76<br>62/150<br>41.3% | 11 | 介助犬ってなにするの？<br>**(社福)アジアワーキングドッグサポート協会** | 56<br>36/117<br>30.8% |
| 5 | 駅のバリアフリーを知ろう<br>東日本旅客鉄道(株)横浜支社 | 54<br>35/ 81<br>43.2% | 12 | **誰もが使いやすいＵＤタクシー**<br>(一社)神奈川県タクシー協会 | 33<br>24/ 84<br>28.6% |
| 6 | ともしび運動の紹介<br>**障害のある方との手作り品製作体験**<br>(社福)神奈川県社会福祉協議会 | 24<br>6/ 24<br>25.0% | 13 | 盲導犬デモンストレーション<br>(公財)日本盲導犬協会 | 52<br>13/ 19<br>68.4% |
| 7 | **あなたも簡単な手話を覚えてみませんか**<br>(公社)神奈川県聴覚障害者協会 | 64<br>49/ 79<br>62.0% | | 該当なし | 23<br>-/-<br>- |

Ｑ２：またバリアフリーフェスタに参加してみたいと思いますか？〇をつけてください

回答数／割合(%)（n=341）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 参加したい | 296/86.8% | どちらでもない | 27/ 7.9% | 参加したくない | 0/0.0% |

（無回答　18/5.3%）

Ｑ３：本日の体験を通して、バリアフリーの取組に興味をもちましたか？〇をつけてください

回答数／割合(%)（n=341）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 興味をもった | 293/85.9% | どちらでもない | 29/ 8.5% | **興味をもたなかった** | 2/0.6% |

（無回答　17/5.0%）

Ｑ４：本日の体験を通して、驚いたことや新しく知ったことなど、感想をお聞かせください

別記　（n=201）

Ｑ５：よろしければ、あなた( アンケート回答者)のことを教えてください

〇　性別　回答数／割合(%)（n=341）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 男性 | 88/25.8% | 女性 | 214/62.8% | （無回答　39/11.4%） |

〇　年代　回答数／割合(%)（n=341）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 未就学児 | 40/11.7% | 小学生 | 121/35.5% | 中学生 | 5/1.5% |
| 高校生 | 0/ 0.0% | その他一般 10 代 | 2/ 0.6% | その他一般 20 代 | 8/2.3% |
| その他一般 30 代 | 45/13.2% | その他一般 40 代 | 53/15.5% | その他一般 50 代 | 11/3.2% |
| その他一般 60 代 | 19/ 5.6% | （無回答　37/10.9%） | | | |

〇　お住まい　回答数／割合(%)（n=341）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 相模原市 | 220/64.5% | **その他神奈川県内** | 22/ 6.5% | 神奈川県外 | 38/11.1% |

（無回答　61/17.9%）

□　コーナー参加数　　押印箇所数／割合(%)（n=341）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| １か所 | 1/ 0.3% | ２か所 | 79/23.2% | ３か所 | 50/14.7% |
| ４か所 | 35/10.3% | ５か所 | 69/20.2% | ６か所 | 61/17.9% |
| ７か所 | 27/ 7.9% | ８か所 | 12/ 3.5% | ９か所 | 7/ 2.1% |

□　アリオ橋本バリアフリー設備におけるスタンプ押印数　　押印数／割合(%)（n=725）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| お問い合わせコール | 317/43.7% | ﾃﾞｼﾞﾀﾙｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ | 339/46.8% | ECO&UD コーナー | 69/ 9.5% |

□　アリオ橋本バリアフリー設備におけるスタンプ押印箇所数　押印箇所数／割合(%)（n=341）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| １か所 | 5/ 1.5% | ２か所 | 285/83.6% | ３か所 | 50/14.7% |
| ０か所 | 1/ 0.3% | | | | |

別記

Ｑ４：本日の体験を通して、驚いたことや新しく知ったことなど、感想をお聞かせください

- １ばんがたのしかった（未就学児・男性）
- わんちゃんいいこだった（未就学児・女性）
- 車イスたいけんをしたが、大変でした。（未就学児・男性）
- かいだんがのぼりやすかった。（未就学児・女性）
- 盲導犬がとてもかしこくてかわいかった。駅のバリアフリーを初めて知った。（未就学児・男性）
- 時間がなくてできなかったが、手話をやりたかった。（未就学児・男性）
- 色の障害のある方の色の見え方がわかった（未就学児・女性）
- 貨物列車でエスカレーターを運んでいたこと。色が分かりづらい方がいるということ。（未就学児・男性）
- 車イスにのって、たいへんさがわかりました。（未就学児・女性）
- 駅のエレベーター設置方法が驚きの方法であった。（一時的に駅ホームを撤去）（未就学児・女性）
- 高さが異なる手すりを使って階段をのぼって、のぼりやすさが違って面白かった。（未就学児・男性）
- きょうは、いろんなことをまなんでたのしかったです。とくにくるまいすがたいへんでした。（小学生・女性）
- 家のかいだんには大きなちがいがある事におどろいた（小学生・男性）
- 聞こえない人はたいへん。（小学生・女性）
- 車いすを動かすのがとても大へんでした。（小学生・女性）
- たのしかった（小学生・男性）
- たくさんのくふうがわかった（小学生・女性）
- たかさがちがうだけでさがとてもあることがびっくりしてきがつきました。（小学生・女性）
- 色がちがく見える人がいることをはじめて知りました。（小学生・女性）
- 車いすをおすのが自分ではたいへんなので、てつだってあげたい（小学生・女性）
- わたしはくるまいすをたいけんしててがつかれたりたいへんなことがわかりました。（小学生・女性）
- たのしかったです（小学生・男性）
- くるまいすにのってみてしょうがいしゃの人がたいへんだってわかった（小学生・女性）
- くるまいすの人はたいへんだと思いました。（小学生・女性）
- 駅の工事は、よなかにやっていることがわかりました。（小学生・男性）
- くるまいすはとてもたいへん（小学生・女性）
- 車いすにのったときにすごくきんにくをつかった（小学生・男性）
- ぬのおおるのが、とてもたのしかった（小学生・女性）
- べんきょうになりました（小学生・女性）
- 車いすはあんがいたいへんだった。（小学生・女性）
- これからもぼ金などに取り組みたいと思った。（小学生・女性）
- もうどうけんのお仕事がいっぱいあると思っていたけど意外と少ない事が、わかったのでおどろいた！また、「バリアフリーフェスタ」に参加したいです。（小学生・女性）
- 学校でやったことがあったけど、もっと知れてよかった！（小学生・女性）
- 車いすは、手の力がいるんだということをしりました。（小学生・女性）
- しゅわは、たくさんしゅるいがあってびっくりしました。（小学生・女性）
- しゅわもたくさんあることをしってびっくりしました。（小学生・女性）
- 車いすはそうじゅうが難しくて自分で歩ける方がいいなと思った。手話は予想以上むずかしくて、覚えきれなそう。（小学生・女性）
- くるまいすがたいへんでした。（小学生・女性）

- いろいろなことをたいけんして、おもしろかった。（小学生・女性）
- いろいろな人のために工夫している。（小学生・女性）
- いろいろな事をしって、よかったと思った。学校でもさんこうにしてみたい。（小学生・女性）
- いままで車いすの人がこんなにつらいなんて思いもしませんでした。（小学生・女性）
- くるまいすでこんなにむずかしいから（小学生・女性）
- たのしかった。（小学生・女性）
- おもった（小学生・男性）
- 今学校の総合でバリアフリーの勉強がいみがわからなかったけど町にはいろんなバリアフリーがあるとしりました。（小学生・男性）
- いろんないろが、ちがう色にみえて、かわいそうだった。（小学生・女性）
- 初めて車いすに乗りました。（小学生・男性）
- かいだんの高さでひくいとのぼりやすくて、びっくりしました。（小学生・女性）
- いろんなバリアフリーがあったことをもっとまなびたいなと思った。（小学生・男性）
- 盲導犬の活動・介助犬など、たくさん、知らない事をわかったから、よかったです。（小学生・女性）
- 私は盲導犬こうほせいをやっていたけど知らないことがあって知れてよかったです。（小学生・女性）
- とりくむ人はすごいなと思いました。（小学生・男性）
- 私は、もうどう犬にさわれてとてもうれしかったです。私は、今もうどう犬のべんきょうをしています。がっこう。（小学生・女性）
- いろんな場所でバリアフリーなどの工夫がたくさんあることが分かった（小学生・女性）
- くるまいすは、じぶんでこぐと、手がいたくなるのがは、かりました。（小学生・女性）
- バリアフリーが、もっとふえればいいと思った。（小学生・女性）
- 家の中でも工夫や工夫できることを探してみようと思った。（小学生・女性）
- 車いすがおもかった（小学生・女性）
- もっとバリアフリーをすると、もっと良くなると思った。フェスタに行ってよかったと思う。（小学生・女性）
- ぬりえで、いつも、自分で見ている色が、同じように、みえないことを知りました。（小学生・女性）
- 町の中のバリアフリーがこんなに工夫されていることがあったからもっといろいろしりたい。（小学生・女性）
- もっと、町にバリアフリーがあることをいっぱい知りたくなった！（小学生・女性）
- もっとスタンプがとりたかったです。（小学生・男性）
- おとしよりはすごくつらくててつだって見ようと思った（小学生・女性）
- アリオにも、たくさんバリアフリーがあって、びっくりした。（小学生・男性）
- バリアフリーは、いろんな人が生活するために必要だと思った。（小学生・男性）
- せんをつなぐのがたのしかった（小学生・女性）
- 困っている人を積極的に助けようと思った（小学生・男性）
- 聴導犬のことをたくさん知ることができました！（小学生・女性）
- くるまいすでこんなにむずかしいからじぶんでうごかすのがたのしかった（小学生・男性）
- 車いすの人がみかけたらゆずろうと思った。（小学生・男性）
- バリアフリーの取組は今後もつづけた方がいいと思った。（小学生・男性）
- バリアフリーをもっとしたかった。（小学生・男性）
- 聴導犬もいるのにおどろきました！（小学生・女性）
- あみ物のつくり方をはじめて知りました。（小学生・女性）
- 車いすは思ったよりうでを使っていたくなったので、びっくりしました。でんどうもそ

うさがむずかしかった。（小学生・男性）
- 今、福祉体験をやって、こんな人が世の中にいるのだなとおもいます！（小学生・女性）
- こうれいしゃの人は、町をあるいて、こんなにたいへんなことだな、とはじめてしりました。まえは、くるまいすにのってみたいな、とか思っていたけど、こういうたいけんをしてたいへんなことをもっとしりたいです。（小学生・女性）
- 手話を覚えたい（小学生・女性）
- 手話はむずかしいと思いました（小学生・女性）
- わたしも体のふじゆうな人がいたらたすけてあげたいです。（小学生・女性）
- 車いすのたいやをまわすのに力がないと動かなかったからたいへんだった。でも、でんどうの車いすは、とってもらくだった。（小学生・女性）
- クルマイスってすごく手がつかれることをしりました。（小学生・女性）
- 車いすがこわかった（小学生・女性）
- しゅわのことがくわしくまなべました。またきたいと思いました。くるまいすもたのしかったです。（小学生・女性）
- もっとやりっかたです。（小学生・男性）
- もっとやってほしい（小学生・男性）
- 色々なバリアフリーが体験できてよかった。（小学生・女性）
- しゅわのことがくわしくまなべました。またきたいと思いました。くるまいすもたのしかったです。おべんきょうをもう少しおぼえたい！（小学生・女性）
- ワンちゃんが、おりこうさんで、かわいかったです。（小学生・男性）
- 手作り製作体験ができなかったので、次回参加したい（小学生・女性）
- ない（小学生・男性）
- 線路を夜つくるやり方、車イスのまがり方、色がわかりずらい人がいることを知って、その人たちに対する工夫を知った。（小学生・男性）
- 介助犬を初めて見ました。もうどう犬以外の犬もいることを知りました。（中学生・女性）
- 盲導犬などの犬を初めてみたので、よかったです。こんどはどんな仕事をしているすがたもみたいです。（中学生・女性）
- 色々な事を知れて楽しかったです。（中学生・女性）
- 車イスにのってみてうごかすのが難しくて、もっと車イスによい環境を作るべきだと思った。（中学生・男性）
- ２回は、とてもたのしかった。良かった。（中学生・女性）
- もうどう犬のぼ金をしたらよろこんでもらえたからこれからのぼ金活動をしてあげたいなと思いました。（その他一般 10 代・女性）
- 子供の保育園にも来てほしいと思いました。（一般 20 代・女性）
- （バリアフリー改修）手すりや階段の高さの違いであんなに登りやすさが違うことにびっくりしました。（マッサージ）資格がある方だとわかっているとすごく安心しておまかせできました。（一般 20 代・女性）
- アリオ橋本自体でバリアフリーのとりくみをしていて、すごいと思いました。（一般 20 代・男性）
- バリアフリーといっても色々な取組があることが驚いた（一般 20 代・男性）
- 気づかないところで色々なバリアフリーの取組があることを知った（一般 20 代・女性）
- 勉強になりました（一般 30 代・女性）
- バリアフリーが広がれば良いと思った（一般 30 代・男性）
- 駅の中のバリアフリーには知らないこともたくさんありました。（一般 30 代・女性）
- もともと障害福祉に関わっていたので、今できるバリアフリーを探してみたい。（一般 30 代・女性）
- 色々体験できて、よかったです。（一般 30 代・女性）

- 気がつかずに利用していたので他にも探してみたいと思いました。（一般 30 代・女性）
- わかりやすくていねいだった（一般 30 代・女性）
- リフォームの時に役立てようと思いました（一般 30 代・女性）
- バリアフリーは、社会全体で進めるべきことだと思う。しかし、企業が取り組まない＝ダメな企業ではない、それぞれの立場で限られた予算で進めていることを知るべき。（一般 30 代・男性）
- 家の中のかい段や手すり、ちょっとした事がすごく違ってくる事を知りました。（一般 30 代・女性）
- 盲導犬は知っていましたが、聴導犬がいるのをこのフェスターを通して知り勉強になりました。（一般 30 代・男性）
- 手話を学びたかった（一般 30 代・女性）
- カラーバリアフリーの大切さとメガネを使用しての体験等が出来た。（一般 30 代・男性）
- 色の障害がある方の色の見え方がわかった。（一般 30 代・女性）
- なるほどと思いました。（一般 30 代・女性）
- ただ目が見えないとかだけではなく、色彩のはん別もむずかしい人もいるのを初めてしりました。（一般 30 代・女性）
- 見え方の違い、車いすの大きさ（一般 30 代・女性）
- 階段たいけんわかりやすかった。（一般 30 代・女性）
- お年寄りの人にとっての段差が危ないんだということがすごくわかりました（一般 30 代・女性）
- 駅のエレベータ工事のためにホームを壊してまで行うところ。（一般 30 代・女性）
- いろいろなことが勉強できた（一般 30 代・男性）
- 色の見え方が違う方がいらっしゃるのを初めて知りました（一般 30 代・女性）
- 子供が小さいこともあり、バリアフリーの大切さを日頃から、実感しています。是非、こどもセンターなどに来て、イベントをやってほしいです。（一般 30 代・女性）
- バリアフリーな場所をもっと増やすべき（公共施設以外も）と思う（一般 30 代・男性）
- カラーバリアフリーのことは今日初めてしりました。色々な意味でくらしやすい町づくりがますます進められることを望みます。（一般 30 代・女性）
- もっとやってほしい（一般 30 代・女性）
- もっと、いろいろと、知りたいと思いました。（一般 30 代・女性）
- 聴導犬の存在にはおどろいた（一般 30 代・男性）
- 駅のエレベータやエスカレータを貨物列車で運んでいると知りました。カラーバリアフリーのコーナーでは、色弱の方の見え方がよくわかりました。（一般 30 代・女性）
- 盲導犬にはじめてふれました。街中で目の不自由な方にあったら、私もお手伝いしたいなと思いました。（一般 40 代・女性）
- 加齢と共に考えたい事だと思う（一般 40 代・女性）
- 聴導犬がどのような働きをしているかがくわしくわかりました。（一般 40 代・女性）
- 知らないことが沢山あっておどろいた。まちの中のバリアフリーを探してみようと思います。（一般 40 代・女性）
- もっとバリアフリーについて知りたいと思った。（一般 40 代・女性）
- もっとバリアフリーな町づくりを広げたほうが良いと思った。（一般 40 代・男性）
- カラーバリアフリーを初めて知った。見えにくい人を考える機会になった。（一般 40 代・女性）
- カラーバリアフリーでは身近な人の色弱の友人の気持ちを知ることができきちょうな体験ができた。今後の日常生活ももっと意シキしてみようと思いました。（一般 40 代・女性）
- 盲導犬には、お仕事中、話しかけたり、さわったり、何かをあげたりしないという事を

初めて知りました。（一般 40 代・女性）
- もっと色々知りたいと思いました。（一般 40 代・女性）
- 介助犬を初めて見られてよかった。（一般 40 代・女性）
- 聴導犬の存在を初めて知りました。いろんなお話きけて、良かったです。（一般 40 代・女性）
- 小学校教諭です。総合の学習で福祉にとりくんでいる為、子どもたちにも声をかけて何人かきていました。こういう機会が身近な所でやっていただけるととてもありがたいです。（一般 40 代・男性）
- 手作り体験をやりたかった。（一般 40 代・女性）
- 同上（一般 40 代・女性）
- 駅に行って確認してみたいです。（一般 40 代・男性）
- タクシーのイスが回転する事にびっくりしました。カラーバリアフリー体験もはじめて体験した。（一般 40 代・女性）
- かんたんな手話を改めておしえてもらいよかった（一般 40 代・女性）
- 聴導犬についてくわしくしることができてよかった。手話通訳がいてたすかりました。（一般 40 代・女性）
- 聴導犬についてくわしくしることができた。手話通訳がいてたすかりました（一般 40 代・女性）
- バリアフリーの取組みがもっと進めば良いと思いました。（一般 40 代・女性）
- 補助犬は、すごいなー、と思いました。（一般 40 代・男性）
- 日ごろから、身の周りのバリアフリーに興味を向けてみたい（一般 40 代・男性）
- 聴導犬も大きい方がいいと思っていたけど、盲導犬よりも小さい方が適していると知りました。（一般 40 代・女性）
- こう思いました（一般 40 代・女性）
- カラーバリアフリーは初めて知りました。（一般 40 代・女性）
- 聴導犬の役割を知ることができました（一般 40 代・女性）
- 色のちがいを体験する事ができ、いろんな取りくみを知ることができてよかった。（一般 40 代・女性）
- 無資格のマッサージ屋がすごく多いと思った（一般 40 代・女性）
- 階段の体験ができておもしろかった（一般 50 代・女性）
- 色が変化するのにおどろいた。（一般 50 代・男性）
- バリアフリーで自分で体験して初めてわかると思いました（一般 50 代・女性）
- 聴導犬の存在を初めて知りました。（一般 50 代・男性）
- 無資格でマッサージ業を行う方々がいる事を初めて知った。（一般 50 代・女性）
- 大変だと思いますが、年に何回かやって下さい＆他の場所もお願いします（一般 50 代・男性）
- マッサージ…さすがプロはちがう！（一般 50 代・男性）
- バリアフリーに聞いて、もっと探してみようと思った（一般 50 代・男性）
- 座席が 90 度動くタクシーがあることを初めて知りました。（一般 50 代・女性）
- 階段の体験はおもしろかった（一般 60 代以上・女性）
- よかった（一般 60 代以上・男性）
- 障害に対して、いろいろな解決方法があることがわかった。（一般 60 代以上・女性）
- 手話を覚えて面白かった。（一般 60 代以上・男性）
- 色のバリアフリーについて初めて知る事が多い。（一般 60 代以上・女性）
- 感（一般 60 代以上・不明）
- 手話をたくさんおぼえてよかった。（一般 60 代以上・男性）
- 盲導犬はたいへんおとなしい、あまりほえない（一般 60 代以上・男性）
- いろいろ体験できてよかった（一般 60 代以上・男性）

・　ＪＲもきててびっくりした。内方線の実物がみたかった。（一般 60 代以上・女性）
・　よかった（一般 60 代以上・女性）
・　目で見えるいろがちがう人がいるとはしりませんでした。（不明・不明）
・　くるまいすにのってみてからだのふじゆうの人のたいへんさがわかりました。（不明・不明）
・　足のわるい人はつかれる（不明・不明）
・　ちがう色にみえる人がいるということがわかってよかったです。（不明・不明）
・　足のわるい人はたいへん（不明・不明）
・　くるまいすにのってみてたいへんさがわかった（不明・不明）
・　てすりがたかかったりしておもしろかった。（不明・不明）
・　車いすがそんなにたいへんということをはじめてしりました。（不明・不明）
・　バリアフリーの取組をうけて、とても体験が楽しかったし、勉強になって良かったです。しゅわや（不明・不明）
・　バリアフリーの取組をうけて、とても楽しかった！（不明・不明）
・　聞こえない人たいへんそうだ。（不明・不明）
・　くるまいすは、あんなに手がつかれると思わなかった。（不明・不明）
・　くるまいすをのる人はたいへんだなとおもいます。（不明・不明）
・　おとしよりのじこがあるんだ。とおもった。すごくたのしかった。（不明・不明）
・　えきで、（不明・不明）
・　聴導犬の存在を知った（不明・女性）
・　くるまいすにのってみてたいへんさがわかった（不明・不明）
・　バリアフリの取組がとても楽しかった（不明・不明）

資料３－２

# フェスタ実行委員会構成団体アンケート

※回答団体数 n=22（うちフェスタ参加団体 12・未参加団体 10）

問１　貴団体コーナーの参加人数（スタンプを押した人数）を教えてください。

回答団体数（n=11 ※未回答団体２分を除く）

計　1,559 名

問２　フェスタでは、参加者に伝えたいことを伝えることができましたか。次の中からあてはまるものを１つ選んでください。（○は１つ）　（n=12 ※未回答団体２分を除く）

| | | |
|---|---|---|
| １　伝えることができた　11 | ２　分からない　1 | ３　伝わらなかった　0 |

【問２で「２分からない」「３伝わらなかった」とお答えの方に】

問２－２　伝えることができなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）　(n=1)

| | | |
|---|---|---|
| １　内容が難しすぎた　0 | ２　内容が簡単すぎた　0 | ３　来場者に興味がなかった　0 |
| ４　当日の対応時間が足りなかった　1 | ５　フェスタの準備時間が足りなかった　1 | |
| ６　その他（　別記　）　1 | | |

問３　貴団体以外のコーナーで、よかったと思うコーナーはどれですか。次の中から３つまで選んでください。（○は３つまで）　(n=42)

| | |
|---|---|
| １　ぬりえで学ぶカラーバリアフリー<br>(特非)カラーユニバーサルデザイン機構/神奈川県 | 3 |
| ２　アリオ橋本のＵＤ店舗施設紹介<br>(株)イトーヨーカ堂 | 2 |
| ３　みんなにやさしいバリアフリー改修<br>(特非)横浜市まちづくりセンター | 2 |
| ４　わが家のバリアフリーチェック<br>(公社)かながわ住まいまちづくり協会 | 0 |
| ５　駅のバリアフリーを知ろう<br>東日本旅客鉄道(株)横浜支社 | 0 |
| ６　ともしび運動の紹介<br>障害のある方との手作り品製作体験<br>(社福)神奈川県社会福祉協議会 | 1 |
| ７　あなたも簡単な手話を覚えてみませんか<br>(公社)神奈川県聴覚障害者協会 | 6 |
| ８　気分爽快クイックマッサージ<br>(特非)神奈川県視覚障害者福祉協会 | 6 |
| ９　体感してみよう車いす<br>(特非)神奈川県障害者自立生活支援センター | 6 |
| 10　もっと知ってください聴導犬を！<br>(特非)聴導犬育成の会 | 5 |
| 11　介助犬ってなにするの？<br>(社福)アジアワーキングドッグサポート協会 | 0 |
| 12　誰もが使いやすいＵＤタクシー<br>(一社)神奈川県タクシー協会 | 2 |
| 13　盲導犬デモンストレーション<br>(公財)日本盲導犬協会 | 3 |
| 14　よかったコーナーはなかった、分からない | 3 |
| 未回答 | 3 |

問４　**貴団体において、今回のフェスタで行った広報を記載してください。（○はいくつでも）**(n=41)

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 団体内への広報用ちらし配布 | 15 |
| 2 | 広報用ちらしの一般配布（配布場所：　別記　） | 8 |
| 3 | インターネットでの告知<br>（広報手段：ホームページ・Twitter・Facebook・その他（　別記　）） | 10 |
| 4 | 広報媒体への掲載<br>（具体的な広報媒体：　別記　） | 3 |
| 5 | テレビやラジオなど、マスコミを使った告知<br>（具体的な広報媒体：　別記　） | 1 |
| 6 | その他（　別記　） | 4 |
| 7 | 広報は実施していない | 1 |

問５　次回フェスタが開催されるとしたら、また参加したいと思いますか。あてはまるものを１つ選んでください。（○は１つ）　(n=21)

| | | |
|---|---|---|
| １　参加したい　13 | ２　分からない　8 | ３　参加したくない　0 |

【問５で「２分からない」「３参加したくない」とお答えの方に】

問５－２　参加したいと思えなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）　(n=12)

| | | |
|---|---|---|
| １　**準備する時間がない**　1 | ２　**スタッフが確保できない**　4 | ３　予算がない　1 |
| ４　団体の取組みと**フェスタの趣旨が違った**　1 | ５　効果が少ない　1 | |
| ６　その他　4<br>（　別記　） | | |

問６　次回フェスタが開催されるとして、何か課題がありましたら、ご自由にお書きください。

別記

問７　御意見や御感想などありましたら、ご自由にお書きください。

別記

別記

問２：フェスタでは、参加者に伝えたいことを伝えることができましたか。次の中からあてはまるものを１つ選んでください。

↓

【問２で「２分からない」「３伝わらなかった」とお答えの方に】

問２－２　伝えることができなかった理由は何ですか。

・　一日限りのイベント型企画では、時間不足の感がある。出展した障害者作業所からは「ＰＲができた」と評価もいただき、「機織り体験自体」は、出展した作業所の 12 月イベントにて、再度体験できることを案内し、スタッフから感謝の言葉をもらった。ただ、予想外の参加者数により作成指導に追われ、障害当事者のふれあいが十分取れなかったことが残念だが、本人は熱心に呼び込みをしてくれた。（神奈川県社会福祉協議会）

問４：貴団体において、今回のフェスタで行った広報を記載してください。

選択肢２：広報用ちらしの一般配布

・アリオ橋本のインフォメーション（イトーヨーカドー）
・手話サークル（聴導犬育成の会）
・ろう学校（聴導犬育成の会）
・獣医大学祭り（聴導犬育成の会）
・街頭募金（聴導犬育成の会）
・橋本駅構内（東日本旅客鉄道）
・長津田駅広報スタンド（佐藤光良氏）
・組合事務所（神奈川県旅館生活衛生同業組合）

選択肢３：インターネットでの告知

・メーリングリスト（神奈川県視覚障害者福祉協会）

選択肢４：広報媒体への掲載

・団体定期刊行物（神奈川県視覚障害者福祉協会）
・当会発行の会報（聴導犬育成の会）
・県のたより（神奈川県）

選択肢５：テレビやラジオなど、マスコミを使った告知

・アール・エフ・ラジオ日本「夏木ゆたかのホッと歌謡曲」
・タウンニュースさがみはら緑区版 11 月 7 日号（神奈川県）
・神奈川新聞県民の窓（神奈川県）

選択肢６：その他

・行きつけのラーメン屋・床屋に配架（神奈川県障害者自立生活支援センター）
・スタッフ近隣住民（聴導犬育成の会）
・神奈川県建築士事務所協会会員へメールでお知らせ（佐藤光良氏）
・アリオ橋本周辺小学校（神奈川県）

**問５：次回フェスタが開催されるとしたら、また参加したいと思いますか。あてはまるものを１つ選んでください。**

↓

**【問５で「２分からない」「３参加したくない」とお答えの方に】**

**問５－２　参加したいと思えなかった理由は何ですか。**

- 実践場面を持たない県社協としては、出展そのものよりも、企画運営に関わる方が適切だと感じた（神奈川県社会福祉協議会）
- 他のイベントへの参加もあり、調整を要するため（神奈川県タクシー協会）
- 担当委員会（技術支援委員会・福祉部会）が実施することを決めて、実際に動いてくれなければ、フェスタへの事業参加ができないからです。さらに、担当委員会としては、そのための事業計画及び予算編成をして理事会の承認を得る必要があります。こうした意味から、現時点では明確な回答ができないとして、記載したものです。（神奈川県建築士会）
- 現時点では分かりません（日本民営鉄道協会）

**問６：次回フェスタが開催されるとして、何か課題がありましたら、ご自由にお書きください。**

- 役割分担はきちんとなされていたが、その役割をやっている人をさがすのに苦労したので、たとえば「統括」「統括補助」等のネームバッジを作るなどして、明確化していただけるとわかりやすく、情報伝達等スムースにいったのではないかと思う。（イトーヨーカドー）
- ブースが少し狭かったので次回は広めにしていただければ嬉しい、昼食スペースの周知が不徹底で設置していたのに利用が少なかったように思える（神奈川県視覚障害者福祉協会）
- 今回のような「出展者」ではなく、裏方、調整役としての関わりがよりベターではと思う。（神奈川県社会福祉協議会）
- 車いすのスタッフが多いため、駐車場（無料）がより多く確保できるとありがたい。スタッフの代休を取ることが難しいため、開催は土曜日のほうが、次の日に休めてありがたい。参加団体の紹介が載った統一的なプログラムが作れるとありがたい。スタンプの押す回数を「正の字」でチェックしていたが、カウンター付きのスタンプなどがあるとありがたい。（神奈川県障害者自立生活支援センター）
- 団体の設立目的や活動のＰＲも必要だと思うので、掲示板は各団体に必要なだけ用意してくれればありがたいと思う。（神奈川県聴覚障害者協会）
- もっと早くから事前周知してほしい。今回、知らない人が多かった。（神奈川県聴覚障害者協会相模原）
- 準備の時間にもう少しゆとりがあれば、企画や当日の搬入搬出の人材確保がもっとできたと思います。（かながわ住まいまちづくり協会）
- 机が狭く、壁面も少なかったため、もし同じぬりえプログラムならば机を増やす、パンフをいれるラックを置く、パーテーションを増やすとよいと思います。（カラーユニバー

サルデザイン機構）

- 統括補助とコーナーリーダーがもっと活用できるとよい。（神奈川県）
- スタンプ報告は統括補助がコーナーを回って確認する。（来場者が立て込んでコーナーでのスタンプ管理と押印が発生している際は、報告に行くのが困難。事務局の位置に入りにくい、タイミングにより総括がいないこともあり。）（神奈川県）
- スタッフ証やスタンプ、机イスなどは、統括補助の呼びかけごとに、コーナーリーダーが受取や返却に行く。（神奈川県）
- ６名の統括補助のうち、２名が景品又はチラシ配付、１名が記録撮影、１名が全体対応となると、実質的な統括補助は２名となる。その２名の役割を運営サイド・参加者サイドともに明確にする。（神奈川県）
- コーナーリーダーのスタッフ証は、他のスタッフと異なるとよい。（統括補助が完全に動ければ「統括補助⇔コーナーリーダー」ラインだけでよいと思うが、コーナーリーダー同士が協力して作業する場合、現場では誰がリーダーかわからない。）（神奈川県）
- カラバリのコーナー内の物品や人の配置を、より工夫するとよい。（限られたスペースの中で、いかにうまく配置するか、動線を検討しておけるとよい。）（神奈川県）
- 会場をお借りした関係もおありかと思いますけれども、もう少し広いスペースがほしかったと思っております。私どものデモンストレーション時、場所が狭く犬の動きがなかなかできず…（聴導犬育成の会）
- 今後の『バリアフリーフェスタかながわ』は、その回毎に主題となるテーマを掲げるとよいと思います。例えば、『杖を使う方にとってのバリアフリー』、『車いすを使う方にとってのバリアフリー』、『公共施設のバリアフリー』、『飲食店のバリアフリー』等です。高齢者や障がい者の方々が街中で実際に問題になりそうな場面、場所を主題とし、それぞれの参加団体が、それぞれの立場で主題に沿った出展が出来れば、より来場者のバリアフリーに対する理解度も深まることでしょう。（横浜市まちづくりセンター）
- もしこのフェスタを少なくとも５年くらいは継続させるものとするならば、それに足る予算の確保は絶対的に必要と考えます。今回は予算が非常に少なかったため、みなさんのお力と心意気に頼りすぎる面があったように思います。このような形で続けるにはいずれ無理が生じると思われます。（東洋大学）
- 継続的に開催するのであれば、県内の場所を替えていろいろなところで行い、県民にバリアフリーの必要性を訴えていくことが良いと思います。（佐藤光良氏）

**問７：御意見や御感想などありましたら、ご自由にお書きください。**

- 行政やＮＰＯ、企業など各団体がそれぞれの立場でバリアフリーを考えており、企業でも業界ごとに取り組まれていて、こういう機会をもつことできちんとそれぞれをつなぐことが目に見えてわかってきたのではないかと思う。違う立場の人々の考えることに触れることで、多様な考えを取り入れることができるようになるもので、特に目に見えて感じられる機会を持てたことはよかったのではないかと考える。（イトーヨーカドー）
- 当団体では目的以上の成果が得られたと考えています。その理由として１アンケート調

査が実施できたことにより今後の参考になった２マッサージを行うのに「免許」が必要なことが伝えられた（神奈川県視覚障害者福祉協会）

- 企画趣旨全体を説明する看板やチラシがあった方がよいのでは。ハード面を中心に、体験型をそろえたのはいいが、今後、例えば車いすをもっと見たいという場合は相模原の福祉用具展示場を紹介したり、手話や補助犬を日常的に学べる場の紹介など、子どもたちを主なターゲットに据えるなら、「継続学習」「興味を持続させる」仕掛けが必要ではないか。再度、ちらしを配布した学校に「アンケート」を送り、教員経由で、参加児童の感想を伺うのはどうか。（神奈川県社会福祉協議会）
- 県民会議の存在意義を示すこのようなお祭りは、ぜひ定期的に開催していただきたい。非常に大きな成果だと考えている。（神奈川県障害者自立生活支援センター）
- とてもよいイベントだと思いました。聴覚障害者の場合、バリアフリーというのは手話を教えることなのかどうか、疑問に感じました。実際に聞こえないことを体験してもらって、コミュニケーションを教えた方がよかったと思いました。バリアフリーを目指すということはわかりますが、手話を知ってもらうための目的は、どういうことなんだろう？それがバリアフリーの目的とずれているような感じがしました。（神奈川県聴覚障害者協会相模原）
- 県民会議の各メンバー、実行委員会の各メンバーがそれぞれ主体性と責任を持って開催できたと思っています。イベントとしては、大成功ではないでしょうか。（かながわ住まいまちづくり協会）
- ぬりえプログラムは、来客者の塗る時間をコントロールしにくく、こちらの説明をマニュアル化しにくい面もあるので、親子で参加するクイズやゲーム形式など検討してもよいかもしれません。（カラーユニバーサルデザイン機構）
- 人が集まる場所を利用させていただいてのイベントは、そのイベントに賛同したり興味があったりしてわざわざ出向く方以外の、当該分野に全く関わりのない方、意識を持たれていなかった方にも啓発できるという点で、よいと思った。（神奈川県）
- 学校で先生から行くように言われた、先生が教えないことを教えてくれるからと言っていた、との声があった。（神奈川県）
- カラーバリアフリーについては、塗り絵ということで、子供を「とっかかり」として保護者に説明するスタイルを基本としていたが、保護者の反応・関心が予想以上だった。また、大人だけのグループで、関心を示される方々もいて、大人向けの「とっかかり」もあってもいいのではないかと思った。（「あ、塗り絵ね（関係ないわ）」と通過される大人だけのグループもあった。）（神奈川県）
- それぞれの団体の方とほんの少しでしたけれどもお話ができたことは有意義な時間でした。補助犬スペースをひとつにして盲導犬・介助犬・聴導犬と順にデモンストレーションができたらよかったのではないかと思いました。来場者の中でイベントを知らずにアリオ橋本へ来て初めて知ったけれども楽しかったとおっしゃってくださった方がたくさんいらっしゃいました。（特に聴導犬を知って勉強になったと言っていただけたことは嬉しいと思いました。）（聴導犬育成の会）

・　バリアフリーの取組みについて御理解をいただけるよい機会となりました。ありがとうございました。（東日本旅客鉄道株式会社）
・　バリアフリーフェスタかながわ 2013 開催当日に各ブースで取ったアンケートの集計結果を、出展団体へ公表して頂きたく思います。（横浜市まちづくりセンター）
・　東洋大としましては、学生たちの社会勉強の場として大変貴重な機会をいただきました。ただし、裏方に徹しすぎた感が否めません。余力があれば、東洋大としてコーナーを一つ立ち上げたかったです。全体としては、初回でありながら、概ね滞りなくフェスタを終えることが出来たことはよかったと思います。ただし、本来の目的がどれだけ達成できたかは、これから十分に検証すべきものと考えます。（東洋大学）
・　準備期間のあまりない中で大成功に終わったのは、関わった皆様の努力の賜物と思います。何もできなかったことが心残りでもあり、申し訳なく思っています。（神奈川子ども未来ファンド）
・　初めての開催にしては、予算も時間のない中で、東洋大学の学生さんたちの協力で成功裏に終わったと感謝いたします。委員会所属団体だけではなく広くバリアフリーに関心を持つ団体に参加を呼びかけても良いのではないでしょうか。（佐藤光良氏）
・　わたしは県身連の評議員であり職員ではありません。次回のフェスタの委員は職員にお願いした方がよいと思います。（神奈川県身体障害者連合会）

資料４

# バリアフリーフェスタかながわ 2013 関連会議 開催状況

## ○　神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議

第６回　平成 25 年６月 18 日（火）
・今後の県民会議の活動について
・部会の設置・運営について

第７回　平成 25 年 11 月８日（金）
・「バリアフリーフェスタかながわ 2013」の開催について
・「みんなで創るバリアフリーの街づくり」に対する意見の収集状況について
・モニタリングの実施について

## ○　バリアフリーフェスタかながわに関する企画部会

第１回　平成 25 年７月 19 日（金）
・バリアフリーフェスタに関する企画部会の運営について
・バリアフリーフェスタ（仮称）について

## ○　バリアフリーフェスタかながわ 2013 実行委員会

第１回　平成 25 年８月６日（火）
・実行委員会の運営について
・バリアフリーフェスタかながわの概要について
・参加団体のコーナーについて
・イベント会場の区割りについて
・広報用ちらしについて

第２回　平成 25 年９月５日（木）
・参加団体のコーナーについて
・スタンプラリーについて
・広報用ちらしについて

第３回　平成 25 年 10 月８日（火）
・予行演習について
・参加団体のコーナーについて
・スタンプラリーについて
・看板について
・役割分担について

第４回　平成 25 年 11 月 11 日（月）
・バリアフリーフェスタかながわ 2013 の運営について
・バリアフリーフェスタかながわ 2013 に関するアンケートについて

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議
バリアフリーフェスタかながわ実行委員会　名簿

※　第４回実行委員会時のもの（敬称略・五十音順）

| NO | 氏　　名 | 所　属　等 |
|---|---|---|
| 1 | 新　井　修　身 | ＮＰＯ法人神奈川県視覚障害者福祉協会 |
| 2 | 石　川　清　貴 | 公益社団法人商連かながわ |
| 3 | 入　原　修　一 | 公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会 |
| 4 | 小　澤　　茂 | 公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会 |
| 5 | 片　山　啓　介 | ＮＰＯ法人横浜市まちづくりセンター |
| 6 | 河　原　雅　浩 | 公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会 |
| 7 | 菊地原　義　夫 | ＮＰＯ法人神奈川県障害者自立生活支援センター |
| 8 | 黒　田　洋一郎 | 神奈川県保健福祉局福祉部地域福祉課 |
| 9 | 佐　川　友　宏 | 一般社団法人神奈川県建築士会 |
| 10 | 佐　藤　光　良 | 公募委員 |
| 11 | 下　村　　旭 | 公募委員 |
| 12 | 菅　原　麻衣子 | 東洋大学ライフデザイン学部 |
| 13 | 鈴　木　孝　明 | 東洋大学ライフデザイン学部 |
| 14 | 鈴　木　輝　行 | 公益財団法人神奈川県身体障害者連合会 |
| 15 | 高　橋　一　秀 | 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 |
| 16 | 田　中　陽　介 | ＮＰＯ法人カラーユニバーサルデザイン機構 |
| 17 | 段　原　二　郎 | 一般社団法人日本民営鉄道協会 |
| 18 | 中　村　　士 | 公益財団法人日本盲導犬協会 |
| 19 | 花　井　　浩 | 一般社団法人神奈川県タクシー協会 |
| 20 | 藤　田　精　子 | 神奈川県手をつなぐ育成会 |
| 21 | 松　田　治　子 | ＮＰＯ法人聴導犬育成の会 |
| 22 | 宮　川　　明 | 日本チェーンストア協会関東支部 |
| 23 | 望　月　靖　登 | 東日本旅客鉄道株式会社横浜支社 |
| 24 | 柳　川　一　朗 | 神奈川県飲食業生活衛生同業組合 |
| 25 | 矢　部　弘　海 | 東洋大学ライフデザイン学部 |
| 26 | 山　崎　利　通 | 一般社団法人神奈川県バス協会 |
| 27 | 吉　富　多　美 | 認定ＮＰＯ法人神奈川子ども未来ファンド |
| 28 | 若　林　伸　二 | 神奈川県旅館生活衛生同業組合 |

## バリアフリーフェスタかながわに関する企画部会 委員名簿
（敬称略・順不同）

座長

| | |
|---|---|
| 菅原麻衣子 | 東洋大学ライフデザイン学部 准教授 |
| 佐藤　光良 | バリアフリー街づくり推進県民会議公募委員 |
| 下村　　旭 | バリアフリー街づくり推進県民会議公募委員 |
| 鈴木　治郎 | ＮＰＯ法人神奈川県障害者自立生活支援センター　事務局長 |
| 鈴木　孝幸 | ＮＰＯ法人神奈川県視覚障害者福祉協会 理事長 |
| 宮川　　明 | 日本チェーンストア協会関東支部 参与 |